

官報

號外

明治三十五年一月二十六日

日曜日

印刷局

第十六回 帝國議會 衆議院議事速記録第九號

明治三十五年一月二十五日(土曜日)午後一時十三分開議

議事日程 第八號 明治三十五年一月二十五日

午後一時開議

第一 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 臺灣官設鐵道用品資金會計法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 明治三十三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 明治三十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 明治三十三年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 明治三十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 明治三十三年度清國事件費豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五 賣藥印紙稅規則廢止法律案(高須賀禮外八名提出) 第一讀會

第十六 賣藥稅法案(高須賀禮外八名提出) 第一讀會

第十七 治水制度調查會設置ニ關スル建議案(堀越寬介提出)

第十八 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案(田口卯吉外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案(根本正外二名提出) (委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

刑法中改正法律案

提出者 安藤 龜太郎君 根本 正君

刑法中改正法律案

提出者 安藤 龜太郎君 根本 正君

東北大學設置建議案

提出者 松田 正久君 尾崎 行雄君

東北大學設置ニ關スル建議案

提出者 犬養 毅君 河野 廣中君

關 養 毅君 淺香 克孝君

議員長及理事左ノ適當選セラレタル

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案

委員長 神藤 才一君 理事 淺香 克孝君

國有土地森林原野下戻法施行法案

委員長 西原 清東君 理事 松島 廉作君

議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

財政及行政整理ノ程度ニ關スル件

提出者 高木 正年君

內務大臣ノ地方行政ノ監督ニ關スル件

提出者 丸山 健藏一郎君 大瀧 傳十郎君

軍人分捕ニ關スル件

提出者 竹內 正志君 初見 八郎君

外交及ヒ內政ニ關スル件

提出者 大石 正己君 加藤 六藏君

神社費ニ關スル件

提出者 大津 淳一郎君

財政及行政整理ノ程度ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十三日

提出者 高木 正年

贊成者 金岡又左衛門

外二十九名

一今ヤ國民ノ負擔ハ既ニ地ニハカラサルノ限度ニ至レルニモ拘ハラズ他方ニハ世界ノ趨勢ニ隨伴シテ國運ノ進達ヲ企畫セサルヘカラサルアリ此ノ間能ク財政ヲ料理シ會テ解ク能ハサリシ情弊ヲ去リテ巧ミニ行政ヲ鹽

梅シ以テ帝國ノ前途ヲ安カラシメサルヘカラス之レ今日ニ於ケル責務ノ最モ急ナルモノトス

政府ハ前内閣ノ豫算案ニ通過ニ際シ財政行政ノ二者ヲ掲ケテ以テ帝國將來ノ國是ヲ完フセシメテ誓ヘリ而シテ其ノ整理ハ事將來ニ屬スルカ如キモ豫算案之レカ計畫ヲ爲スニ當リテハ大體ノ目計ナカラサルヘカラス政府ノ考案果シテ如何

政府ノ行政ハ從來常ニ統一ヲ缺キ各省互ニ其方針ヲ異ニスルヲ以テ二者ノ間往々行政其目的相背離シ行政ノ便宜ヲ缺クコトナキヲ保セス故ニ能ク此ノ間ニ調和ヲ計リ一ノ支出ヲ以テ他ノ欠遺ヲ補ヒ漸次ニ諸般ノ完成ヲ期スルニ於テハ現時ノ歲入ヲ以テ世界ノ文明ニ一著ヲ輪セサルヲ得ヘシ

例セハ陸軍ニ於テ糧食兵服ノ改良及軍器ノ改造ノ如キ之ニ用スル費額ハ陸軍現時ノ兵役制度ヲ改正シテ學術アリ技藝アリテ品行方正ナル者ノ歸郷ヲ多クシ以テ現時ノ兵數ヲ減スルノ策ヲ採ラハ其ノ餘裕ヲ以テ優ニ新計畫ノ必要ニ應スルヲ得ヘシ

近時ノ戰役ニ鑑ミルニ海軍陸戰隊ノ必要極メテ多ク從テ其艦員ノ補缺ヲ豫備スルハ目下ノ急務ナリ而シテ之レカ補缺ニ對スル計畫ハ新ナル歲出ヲ要セサルモ彼ノ航海獎勵法ヲ利用シ被保護者ニ命シ罷役軍人ヲ其乘組員トナスル規定トナサハ一朝有事ノ日ニ於テ能ク其補充ヲ全フスルニ足ルヘク水雷艇隊員ノ補充法ノ如キモ遠洋漁業獎勵法ヲ利用シテ能ク其目的ヲ達スルヲ得ヘシ

教育ニ關スル設備ノ如キ亦唯現時ノ制度ヲ改革シテ其目的ヲ達スルニ難カラス東北大學ノ如キモ帝國大學科中之ヲ民間ノ設立ニ委スルヲ便トスルモノヲ除キ其費目ヲ以テ一分科ヲ地方ニ設クルヲ妨ケス

右及質問候也

內務大臣ノ地方行政ノ監督ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十三日

提出者 丸山嵯峨一郎

贊成者 花井 卓藏

外三十八名

內務大臣ノ地方行政ノ監督ニ關スル質問主意書

一 內務大臣ハ町村制第四條ニ基キ町村ノ廢置分合ニ關スル許可ノ處分ヲ爲スニ當リ之カ調査ヲ遂クル必要ナシト信スルカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ地方長官ノ稟請ニ對シテ調査スルノ權能ナキカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ地方長官ノ詐欺ノ報告ニ由リテ爲シタル其錯誤ノ處分ヲ取消スノ權能ナキカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ明治三十四年度ニ於ケル新編縣ノ町村分合ニ關シ其ノ分合ヲ許可シタル町村ニ就イテ果シテ町村制第四條第三項ノ場合ニ該當シタル

事實理由アリト認ムルカ若シ理由アリトセハ詳細ナル事實ノ報告ヲ爲スヲ得ルカ如何

一 內務大臣ハ新潟縣ノ町村分合ノ處分ノ結果許多ノ紛擾ヲ惹起シタル事實ヲ知レルカ若シ之ヲ知レリトセハ此ノ如キハ公益ヲ害スルモノト思ハサルカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ新潟縣知事ノ稟請ノ主旨ガ果シテ町村制中何レノ規定ニ由リタルモノナルカ解釋シ得タルカ現實ニ町村制第四條第三項ノ場合ニ該當セサル稟請ニ對シテ之カ許可ヲ與フヘキ義務ハ町村制中何レノ規定ニ由リタルモノナルカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ新潟縣知事ノ如キ法律ヲ無視シ暴戾壓抑ヲ極ムル知事ヲシテ地方ノ行政ヲ掌ラシムル必要ヲ認ムルカ及ヒ現内閣ノ屬僚中新潟縣知事柏田盛文ニ勝レル人物ナキカ若シアリトセハ何故ニ獨リ新潟縣ヲ蔑視シテ斯ル暴戾非違ノ知事ヲシテ縣治ヲ料理セシムルカ及ヒ其理由如何

一 內務大臣ハ本件ノ如キ場合ニ於テ之カ救済ノ道ヲ講スルノ意思ナキカ及ヒ其理由如何

軍人分捕ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年一月二十四日
提出者 竹内 正志
贊成者 石原半右衛門
外四十一名
初見 八郎
加藤 六藏

右及質問候也

內務大臣ノ地方行政ノ監督ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十五日

提出者 大石 正己

贊成者 犬養 毅

外六十一名

外交及內政ニ關スル質問主意書

第一 露國政府ハ清國ノ秩序常態ニ復シ皇帝回鑾シテ中央政府北京ニ建設セラルル場合ニハ滿洲撤退ヲ實行スヘシト聲明シ帝國政府ハ此宣言ニ信賴セリ然レ今ヤ清國ノ秩序回復シ清國皇帝ハ北京ニ還御シ中央政府モ亦首都ニ在ルニ關ハラス露國ハ滿洲ヲ撤退セシ滿洲ニ於ケル清國ノ主權行ハレス露國占領ノ實アリ是レ露國政府前日ノ宣言ト相容レサルモノナリ

一一九

マス、是等ノタメニ要スル費用ハドウスルカト云フト、今日ノ政府ノヤリ方デハ、唯金ナシト云フ言葉ノ中ニ、之ヲ默々ニ付スルカモ知レヌノデゴザイマス、併シ是ニ就イテ屢諸君ノ耳ニ入レタコトガアルノデゴザイマス、現時十二師團ノ兵ヲ減シテ、或ル師團ノ數ニ爲スベシトハ、私ハ公言致サヌノデゴザイマス、サリナガラ若シ技藝アリ品行方正ニシテ而モ學術アル、兵ヲ減シテ、成ルベク早く歸郷セシムルコト云フ制度ヲ執ツタナラバ、今日モ多少此制度ハ執ツテアルガ、若シ今日以上此歸郷兵ヲ殖スト云フ制度ヲ執ツタナラバ、是ヨリ減シ來ル所ノ費用ハ、即チ陸軍ノ他ノ方面ノ擴張費兵士ノ待遇及兵服ノ改良等ニ費シテ多ク辯ズルコトガ出來ルノデゴザイマス、一方ニハ品物乏乏行ノ善キモノヲ歸郷セシムルコトニナリマシタナラバ、今日ノ如キ兵役ニ出テ、彼ノ破廉耻病ヲ受ケテ歸ル者ノ數ヲ減ズルト同時ニ、一般ノ風教モ之ガタメニ清潔ニナルデゴザイマセウ、教育アル者ヲシテ、早く歸郷セシムルト云フ制度ヲ執ツタナラバ、民間ニ於ケル教育モ駁ナシテ相進ムデゴザイマセウ、彼ノ體操其他射の等ノ技藝ニ練達スル者ヲシテ、早く歸郷セシムルト云フ制ヲ設ケタナラバ、一朝有事ノ時ニ於テ、國民軍ヲシテ有效ナル戰役ヲ爲サシムルト云フコトノ豫備ヲ爲スニ、大利益アリト信ズルノデゴザイマス、斯様ニ現時ノ師團ノ數ヲ減ゼズ、或ル有事ノ時ニ於テノ兵數減ラゼザルモ、成ルベク平時ニ於ケル在營舍ノ兵ヲ減ズルト云フ方法ヲ執リシナラバ、決シテ世界ノ文明ニ後レザル兵器ノ改良若クハ其他ノ設備モ、十分爲シ得テ餘アリト私ハ信ズルノデゴザイマス、近來地方大學ノコトニ就イテ、議會デハ前內閣及政府ノ責任ニ就イテ屢御論ガアルノデゴザイマス、前議會ニ於テハ東北及九州ニ二大學ヲ起スト云フ事柄ニナツテ居ッタガ、本年ノ豫算ニハ僅ニ九州ノ一大學ノミシガ、政府ハ提出シテ居ラヌノデゴザイマス、今日既ニ建議案モ見エテ居ルヤウデゴザイマスルガ、是ニ附イテ菊池文相ハ近キ將來ニ於テハ、政府ハ爲スベシト明言ヲセラレタガ、是亦私共甚ダ信任ヲ措カヌノデゴザイマス、所謂是モ整理ノ一手段デアル、整理ノ結果デアルト待ツテ居ッタナラバ、來年ニナツテモ矢張出來ヌノデゴザイマス、前内閣ノ約束ハハ即チ今日ニ履行セザルニ於テハ、今年ノ約束ガ明年ニ於テ履行スベシトハ、私共輒ク之ヲ信ズルコトガ來出ヌノデゴザイマス、之ニ附イテは一ノ私ノ考察デゴザイマスルガ、參考ノタメニ諸君ニ御訴ヲシテ置クベキ事柄ガガゴザイマス、一體政府ハ民間ノ今日ノ希望ヨリ、文科大學ヲ地方ニ起スト云フコトニ附イテハ、之ヲ起シ得ヌトキニハ、成ルベク民間ニ於テ私立ノ大學ヲ獎勵シテ起サシメルコト云フ方針ヲ、第一ニ執ラネバナラヌノデゴザイマスル、一方ニ於テ私立ノ大學設置ヲ獎勵シ、他方ニ於テハ財政ノ許ス限、政府ノ許スル計畫ヲ全ウシテ、即チ教育方面ニ一資線ヲ造ルベキハ、當ニ政府ノ責任デアアルガ、二者共ニ政府ハ爲シ得テ居ラヌノデゴザイマス、寧口或ル方面ニ於テハ、民設ノ學校ニ附イテハ免角ヤカマシキ議論ノミ多クシテ、實際ノ運ビノ惡イヤウニナツテ居ルヤウナ感ガアルノデゴザイマス、民間ニ於テ私立大學ト云フコトハ、近來誠ニ喜ブベキ紀元ヲ作リツ、ゴザイマスルガ、是ニ附イテ政府ノ爲スベキ大學ノ科目ト、民間ニ於テ爲サシメ易キモノトノ分別ヲ分テテ、而シテ此兩者ノ間ヲ調和シ、兩者共ニ能ク成立スル方針ヲ執ラント、私ハ希望スルノデゴザイマス、彼ノ醫科ノ如キ、工科ノ如キ、理科ノ如キ、種々ナル器械ト、之ニ對スル試驗ニ多額ノ資金ヲ要シ、教授ニ於テ容易ニ私立大學ノ企テ及ブベカラザルモノ、如キハ、之ヲ政府ノ設立ニ歸シテ、其他文科ノ如キ、法科ノ如キ、唯書籍ト一ノ教師サヘアレバ出來得ル、即チ文科法科ノ大學ノ如キハ、私ノ希望ヲ申シタナラバ、所謂彼ノ東京大學京都大學ノ如キ科目中ヨリ除イテ、此二科ハ民間大學ニ移スト云フコトニ爲シタ

上ニ於テ、豫メ一ツノ安心ヲ與ヘラレシコトヲ、私ハ希望致スノデゴザリマ
スル、若シ此整理ナルモノ、言葉ノ上ニ信任ヲ措キテ、若シ之ヲ默過シタラン
ニハ、前内閣ニ於ケル失敗ハ、現内閣ノ失敗ト爲リ、其失敗ヤ即チ豫算案ヲ
通過セシメタル吾々ノ責任ト爲ルコトデアルト考ヘマスルガ故ニ、豫メ政
府ノ意アル所ヲ聽キ、而シテ第二ノ考案ヲ下シコトヲ欲スルガ故ニ、茲
ニ財政整理ノ程度ニ關スル質問ノ要領ヲ述ルコト、此ノ如キ次第デゴザイマ
スル

○議長(片岡健吉君) 大石正己君

(大石正己君演壇ニ登ル)

○大石正己君(八十六番) 私ハ外交内政ニ關スル質問ヲ提出致シテ置キマシ
タ、其質問ノ要領ヲ説明致サウト思ヒマス、此質問ニ入ルノ前ニ當リテ、
一應辯明ヲ致シテ置キタイコトガアル、段々新聞紙ノ報スル所ニ據リテ
ハ、或ハ吾々ノ態度ガ云々、政府ニ反對若クハ彈劾的ノ演說ヲ云々ト云フヤ
ウナ報道ガ、澤山傳テ居リマス、併シ本員ノ今日質問ヲ致ス大主眼トスル
所ハ、敢テ徒ニ反對駁撃ヲスルト云フヤウナ、決シテ本意デハアリマセヌ、
要スル所當局者ノ注意ヲ促シ警告ヲ與ヘテ、國家ノためニ奮勵シテ盡ス
アラシコトヲ、希望スル趣意デアリマスカラ、或ハ申述ベテ見レバ、政府ト
大ニ同意スル點ガアルカモ知レヌ、政府ノ方ニ於テハ贊成シテ勵ク所ガアル
カモ知レヌト私ハ考ヘル、是ハ私ガ説明シテ置ク所以ト云フモノハ、凡
ソ人ノ説ヲ聽クニ、虚心平氣デ以テ聽クノト、或ハ吾々ニ反對シ吾々ノ攻撃スル
ト云フノ待設ケデ聞キマスルノトハ、大層ナ違ガアツテ、場合ニ依リマスル
ト、本員ノ説ク所、質問ヲ受ケル所ト間ニ誤解ヲ惹起シテ、爲ニ目的ヲ達セ
ヌト云フコトニ立到ルカモ知レヌ、故ニ是ハ私ハ一應辯シテ置ク、又本員ノ
質問ヲスル趣意ニ於キマシテハ、主トシテ外交ニ在リ、此外交ニ對シテハ恐
ラク當局者政府タルモノモ、大賛成ヲ表セラル、點ガアルカモ知レヌ、寧ロ
私ハ反對スルト云フ點ガアツタナラバ、國トシテ外國ニ反對スルト云フ點ガ
アルカモ知レヌ、併シ又凡ソ質問ヲスルニ於テハ、其要領ヲ言フノミニアラ
ズシテ、順序ヲ立テ、道理ヲ説キ理ヲ説イテ談ズル中ニハ、或ハ大ニ又衝突
スル點ガアルカモ知レヌ、併ナガラ是ハ人ト人トノ衝突デハナイ、道理ノ衝
突デアリマスカラ、敢テ此質問ヲ爲ス上ニ於テ、一點ノ私心アルニアラズ、
愛憎アルニアラズ、唯單中國ヲ見ルノミニシテ、私ハ決シテ政府モ、當局者
モ、其他何等ノ政黨モ、政派モ、眼中ニハ置カヌ積デアアル、デレハ前置キデゴザ
イマスガ、サテ外交ニ就キマシテモ、段々ニ其條ヲ別ツテ見レバ、滿洲ノ事
件モアリ、又朝鮮ノ事件モアリ、或ハ滿洲ノコトモアリマスルシ、段々箇條
ガ岐レテ居リマス、又内政ニ附キマシテモ、色々財政ノ事ニ涉ルコトモアレ
バ、行政ニ涉ルコトモアリマスルシ、今日質問ノ趣意ハ、大分多端ニ涉ツタ
コトデアリマスガ、唯質問ノ要領ヲ説明スル前ニ當リテ、其一ツノ題目ニ
附イテ切ツテ質問ヲスル積デアリマス、私ノ外交ノ上ニ於テ質問ヲスル第一
點ハ、滿洲問題デアリマスガ、此滿洲問題ニ付キマシテハ、諸君モ御存知ノ
如ク、未ダ落着テ告ゲマセヌ、落着テ告ゲマシナラズ、寧ロ此滿洲問題ニ
附イテハ、餘程危險ヲ感ズル筋ガ多クアリマス、ト申スモノハ、此外見識ニ
近來ハ露西亞ノ要求案ナルモノモ、段々和ライデ來タガ如キ觀ヲ爲シテ、
或ハ不日ニ此問題ハ片付クデアラウト云フヤウナ、豫想ヲシテ居ル方面モア
リ、偶ニハ新聞紙ニモ、サウ云フ筆法デ書カレテ居ルコトヲ見受ケマスルケ
レドモ、此事態ト云フモノハ、甚ダ切迫ヲ致シテ居ルコトデ、又此落着ト
云フコトハ、容易ニ是ハ告ゲナイコトト察シマス、第一此露西亞ノ暴ニ我

國ノ警告ヲ與フルニ當ツテ、露清特約ナルモノヲ撤回スルトキニ於テハ、ド
ウ云フ態度ヲ取ラレタカト云ヘバ、即チ露西亞ハ此時ニ露清特約案ナ
ルモノヲ撤回スルト同時ニ、世界ニ宣明シテ曰ク、清國ノ秩序ヲ恢復シ皇
帝回鑾スレバ、露國ハ兵ヲ滿洲ヨリ撤去シ、滿洲ノ秩序ヲ恢復シ舊態ヲ
復舊セシムルコト云フコトヲ盟ツテ、即チ此事ハ露西亞政府ノ責任ヲ以テ、世
界ニ表明シテ居ルコトデアラル、此時ニ當リテ日本政府ナルモノハ、其宣明
ヲ信ジ其實行ヲ期シタルガ故ニ、警告ト云フモノヲ致シテ、爰ニ默リ込
ンダ譯デアアル、此露西亞ノ天下ニ宣明シタル所ノ第一ノ條件タルモノハ、即
チ支那ノ秩序ヲ恢復シ、皇帝回鑾シテ而シテ中央政府ガ北京ニ建立セラ
ルコト云フコトヲ、即チ條件トシテ之ヲ宣明セラレタモノデアラル、此條件トサレ
タ所ノ狀態ハ、今日如何デアアル、即チ支那ハ秩序ハ恢復シ皇帝ハ回鑾シ、中
央政府ハ北京ニ建立セラレテ居ルデハナイカ、是ニ於テ露西亞ガ速ニ兵ヲ滿
洲ヨリ撤シ、滿洲ノ狀態ヲ復スルト云フコトハ、當然爲スベキコトデアラル、
此宣明ヲ爲ストキニ當リテ、今日露西亞ノ要求案ナルモノ、如キ意味ヲ、決シ
テ宣明ヲシテ居リハ、斯ク斯クノ條件ヲ以テ支那ノ殊ニ條約ヲ結ンデ、然レ
兵ヲ引クコト云フコトハ、決シテ言ウテ居リハシナイ、即チ其時ノ主眼ノ條
件トスル所ノモノハ、今日得ラレテ居ルデハナイカ、今日ニ於テ最早條件
ヲ取り特約ヲ結ブ必要ハナイ、速ニ兵隊ヲ引上ゲテ、此滿洲ノ主權ト云フモ
ノヲ、支那ニ還付スルト云フコトハ當然デアラル、然レニ此露西亞ノ形勢ヲ見
レバ、如何デアアル、決シテ兵ヲ滿洲カラ引キサウニモ見エヌ、滿洲ノ統治
權ヲ支那政府ニ還付スルト云フ形勢ハ、決シテナイ、此狀態ハ先キニ露西
亞ガ支那特約ヲ結バントシタルコトノ狀態ヨリ、一層是ハ惡ルイ形勢デア
ル、何トナレバ條約ヲ結バントスルト云フコトハ、即チ滿洲ノ主權ヲ取り、滿洲
ノ占領ヲ確實ニシヤウト云フノ約束ヲ結バントシタルコトデアラル、今日ハ即チ
其條件トシタル所ノモノヲ得ナガラ、兵ヲ引カズ主權ヲ還サナイト云フコトハ、
既ニ此約束ヲ破ツタモノナラ、曩ニ天下ニ宣明シタル所ノ、即チ宣明ニ相反スル
モノデアラル、然ラバ此日本政府ガ此露西亞ノ宣明ヲ信用ヲ置キ、此實行ヲ欺
アル、此先キニ警告シタル所ノ日本政府ハ、茲ニ信用ヲ置キ、今日ニ於テ此滿洲
ノ露西亞ノ態度ト云フモノヲ見テ、如何ナル處置ヲ取ラレタノデアラルカ、或ハ
察スル所、當局者モ默ツテ居ナイデアラウ、何モシナイデ居ナイデハナイ、
然レニ僅ニ支那ノ腰ヲ突イテ、支那政府ニ忠告ヲシ勸告ヲシ、或ハ一部分ノ
彼此レノ指圖ヲスルト云フヤウナコトヲ以テ、決シテ是ハ外交ノ能事終レリ
トスベキモノデハナイ、曩ニ警告ヲ與ヘタルトキ日本政府ノ決心ト、其責
任ヲ以テ考ヘテ見タナラバ、即チ一刻モ是ハ默スベキトキデアハナイ、又單ニ
支那政府ニ向ツテ、僅ニ忠告ヲ入レ、入レ智慧ヲスルト云フヤウナコトヲ以
テ、今日決シテ默スベキトキデアハナイ、何故進デ此問題ヲ解決スベキダケ
日本ハ態度ヲ取ラナシ、又勢ヒ今日ノ形勢ヲ見テ見マスレバ、兩方睨合ノ形
ニナツテ、決シテ此事件ガ容易ニ落着クシヤウトハ思ハレナイ、又露西亞ノ
方ノ側カラ考ヘマスレバ、是ハ容易ニ落着クサセヌ方ニ利益ガアル、何トナ
レバ滿洲ナルモノヲ今日以後ニ占領シヤウト云フコトキデアハナイ、既ニ滿洲ヲ
占領シタル曉デアラル以上ハ、茲ニ談判ニ利益ナラザルヲ見レバ、即チ一日一
日ト之ヲ遷延スルト云フコトハ、露西亞ニ取ツテハ大ナル利益デアツテ、支那
及此支那ニ利害ヲ持ツテ居ル國ニ取ツテハ、一大危險デアラル、諸君モ御記憶ノ
通り、此普佛ノ戰爭ノためニ佛蘭西ガアルサス、ローレンヲ日耳曼ニ取ラレ

其當時ト云フモノハ、人心此アルサス、ローレンヲ取り還スニアラズン
バ、決シテ佛蘭西ノ人民ハナシ、佛蘭西ノ人トシテ佛蘭西ノ面皮ガナイ云フ感
覺ヲ以テ、佛蘭西ノ人民、佛蘭西ノ愛國家ト云フモノハ、一日モ早ク之ヲ恢復
シヤウト云フコトヲ決セラレタ、所謂學校ノ地圖ニモアルサス、ローレンヲ
黒ク塗テ、子弟ノ教育ニマデ、腦中ニマデ印セシメテ、遂ニ今日ハ日耳曼ヲ見
モ歲經テ見レバ、段々此感覺ハ薄ライデシマツテ、遂ニ今日ハ日耳曼ヲ見
ルコト昔日ノ如クナラズアルサス、ローレンノ問題ハ殆ド忘れタル如キ有様
ニナリト居ル、斯ノ如キモノデアラフテ、此滿洲ノ如キモノ既ニ露西亞ガ占領シ
居ル以上ト云フモノハ、此先キ月ヲ重ネ時ヲ經ルニ隨テ、段々此事ニ慣
ルノ結果ハ、遂ニ之ヲ復舊スルコトノ頗ル困難ナルコトハ明ナルコトデア
アル、既ニ露西亞ノ方ニ取ツテハ、是ハ時ヲ延ベル方ニ利アツテ、即チ此支
那及是ニ關係スル此滿洲ニ利害ヲ有スル所ノ國ニシテ、甚ダ危險デアリマ
ス、故ニ此露西亞ガ或ハ伸ベタリ縮メタリ、或ハ嚴ニ或ハ軟ニ、此驅引ヲ
シテ居ラレル所デアラフテ、決シテ是ハ此問題ヲ早ク落著サセルコト
ニ、露西亞ハ急グ決シテ理由ハナシ、此線ヲ、間ニ日ヲ送ツテ、今ニモ是
ガ事ガ落著スルガ如ク考ヘテ、之ヲウカ、待ツテ居ル程、愚ナ話ハナシ
ハ居ルト考ヘマス、固ヨリ當局者ニ於テハ、ソレ、外交上ニ勸カレテ
見込ノ變ル點ガアル、ト云フモノハ、此滿洲問題ト云フモノニ附キ、當局
者ハ如何ナル考ヲ持ツテ居ラル、カ、之ヲ解決スルコト云フモノハ、何時ノト
キニ於テドウ云フトキニ至ツテ是ハ解決シタト考ヘラル、カト云フモノハ、
吾人ノ考ヘルニハ、殆ド今日ニ於テ支那ト更ニ條約ヲ結ンデ云々ト云フコト
ノ必要ヲ見ナイ、最早條約ヲ結バナクとも、條約ニ書クベキコトハ、事實ニ
於テ支那ガ秩序ヲ恢復シタ、皇帝ハ回鑾サレタ、中央政府ガ北京ニ成立ツテ
居ル以上、殆ド條約ヲ更ニスル必要ハナシ、然ルニ當局者ガ或ハ又別ニコ、
支那ト露西亞ノ間ニ主權ヲ害セザル條約ヲスルコトガ必要デアルト見レ
バ、或ハ條約ヲスルモ害ガナイカ知ラヌケレドモ、此條約ヲ結ブト云フ必要
ハ、今日實際ニ於テアリハシナイ、露西亞ノタメニハ、利益ヲ取ラウト云フ
タメニ條約ヲ結ブ必要ハ起ルガ、支那ノタメニハ、決シテ條約ヲ結バヌナラ
ヌト云フ必要ハナシ、然ルニ若シ條約ヲ結ブ致シタ所デ、然ラバ條約ヲ結
ンダラ此問題ガ解決シタト諸君ガ考ヘラル、カ如何、決シテ紙ノ條約ハ當テ
ニナラモノデアラナイ、此條約ト云フモノヲ結バシタナラバ、滿洲問題ハ誠ニ
是デサツバリ濟ミマシタト云フヤウナ、心得方ヲシテ居ルモノハ、是ハ大ナル
間違デアアル、條約ト云フモノハ紙ノ條約、如何ナル效能ガアルカ、其紙ノ條
約ヲ實行サセル所ノモノ、此紙ノ條約ヲ維持スル所ノ實力ト云フモノハ受取レナ
備ヘヌ以上ト云フモノハ、決シテ滿洲問題ハ解決シタト云フコトハ受取レナ
イ、又事實此紙ノ條約ヲ維持スルダケノ實力ガ出來サスレバ、即チ滿洲問
題ハ條約ヲ結バナクテモ、既ニ解決シテ居ルデハナシ、カ、此紙ノ條約ハ
約ヲサスルカ、紙ノ條約ヲ維持シテ居ルデハナシ、カ、此紙ノ條約ハ
アル、露西亞ノ實力ヲ茲ニ備フモノハ、唯一ニ此實力如何ニ存スルモノデ
紙ノ條約ヲ破ラレタト云フ例ヨリハ、寧ロ守ラレヌト云フ例ノ方ガ實ニ在ル、
手トシテ、單ニ一ノ紙ノ條約ヲ目的ニシテ外交ヲセラルト云フナラバ、是
ハ大ナル間違デアアル、然ルニ尙ホ此紙ノ條約ヲモ結ブコトガ出來ヌト云フ
ニ至ツテハ、如何ナルモノデアアル、故ニ我輩ハ此滿洲問題ノ解決スルコト云フ

キハ、單ニ此支那ト露西亞トノ間ニ、彼此云々ト今日騒イデ居ル所ノ者ニ重
キヲ置ク必要ハナシ、即チ難問ノ根本ヲ解決スル所ノ考ヲセシメバナルマ
イト思フ、又今日ノ場合デ此問題ガ長引クコトハ、勿論物ノ道理カラ當然ノコトデア
ル、長引カセルト云フコトガ露西亞ノ政略デアルト云フコトヲ看破スルコト
ハ、敢テ識者ヲ俟タヌ、何トナレバ露西亞ノ西比利亞ノ鐵道、歐亞ノ聯絡ヲ
スル所ノ鐵道ヲ、一日ト一刻ノ間ニ露西亞ノ勢力ト云フモノヲ增加シツ、
間ニハ、之ヲ完結スルコト云フノデアアル、又軍艦其他此兵備ノ點ニ於キマシ
テモ、寸々刻々決シテ敵ム間モナク、露西亞ノ實力ト云フモノヲ增加シツ、
アルノデアアル、此力ガ増加スル時期ニ、一方ハ向ヒヨル、一方ハ占領サレ
テ、段々弱テ來ヨルコト云フ關係ガ見エテ居ル以上ハ、露西亞ニ於テ何ヲ急
グ必要ガアル、是ハ物ノ勢ニ於テ物ノ利害ノ關係ニ於テ觀易イデアラフ
此問題ヲ長引カセルト云フハ勿論デアアル、サウシマスレバ此滿洲問題ノ解
決ト云フモノハ、殆ド見込ノ想像シテ、豫メ今日ヨリ豫メ何日ニ解決セラル、
ト云フコトハ、殆ド見込ノ想像シテ、豫メ今日ヨリ豫メ何日ニ解決セラル、
日本政府當局者ナルモノハ、此問題ニ對シテ如何ナルコトヲサレヨルカ、
吾人ハ之ヲ承リタイト思フ、凡ソ斯ノ如キ問題ニ於テハ、議會開ケルヤ政
府ナルモノハ、斯ウ云フ重大事件ノ經過ト並ニ現狀ト、並ニ將來ノ見込ト云
フコトニ附イテハ、何レカ是ハ說明ヲセンケレバナラヌ、何モ此議會ガ政
府ノ豫算ヲ贊成シタリ否決シタリスルコト云フダケノ、是ハ道具デアラナイ、
即チ國ヲ代表シテ、國家ノ休戚ニ關スル大問題ヲ議スル議場デアアル、又若
シ問ハザレバ云ハヌト、分ラヌコトガアレバ問フノガ順デアアル、斯ウ云
フ考ヲセラレバ居ルカ知レヌガ、是ハ大ナル間違デアアル、問ハザルコトハ
ハヌト云フナレバ、何モ議會ニ臨シテ列國ト交際國トノ間ハ、益親密
ナヘツ、アル云々ト云フヤウナ、儀式的ノイラヌ演說ヲスル必要ハ
ナイ、誰モ知ツテ居ル、列國トノ間ノ交際ガ、ドウナリ居ル位ノコトハ
分ツテ居ル、サウ云フ要ラザルコトヲ持ツテ來テ、饒舌グルヨリハ、詰リ
斯ノ如キ大切ナル問題ニ附イテ、此人民ヲ代表シテ居ル議會ニ報告スル
ト云フコトハ、當然ノコトデアアル、吾人ハ外務大臣、總理大臣ガ、イザレ
此外交問題ニ附イテハ、說明若ハ報告モアルダラウト、今日マデ待設ケテ
居リマシタケレドモ、遺憾ナルカ、一向其報告ニ接シナイ、已ムコトヲ
得ズ此問題ヲ、斯ノ如キ種類ノ問題ヲ持出シテ、質問ヲスル所以デア
ルデアラウ、又固ヨリ進行中ノコトニ附イテハ、天下ニ公ニスルコトハ憚ル
點モアリマセウケレドモ、免ニ角今日ノ露西亞ノ態度ニ向ツテ、日本政府ハ
ドウ云フ態度ヲ採ラレ、ドウ云フ仕事ヲシタノデアアルカ、ドウ云ウ交際ヲ開
カレタノデアアルカ、且ツ又之ヲドウ云フ風ニ片付ケテシマフ決心ヲ持ツテ居
ラレタカ、曩ニ我邦ガ露西亞ニ警告シタ所ノ方針ト云フモノヲ、今日尙ホ之
ヲ護ツテ居ラレルノデアアルカ、又此方針ヲ遂行シツ、アルノデアアルカ、若ク
ハ其方針ヲ變ゼラレテ居ルノデアアルカ、又此歐洲問題ニシテ露西亞ト支那ト
ノ間ニ於テ、忽チ條約ガ成立ツテシマツテ、直ニ是ガ結局ヲ告ルコト云フコト
ガ出來レバ、是ハ幸ナクコトデアアルカ、意ノ如ク是ガ繼ヲナカヌト云フ
時ニハ、ドウ云フ決心ヲ持ツテ居ルカ、滿洲問題ニシテ解決セラレヌト云フ
キハ、ドウ云フ決心ヲ持ツテ居ルカ、滿洲問題ニシテ解決セラレヌト云フ
行ニ放任シテ、ゴツトシテ傍觀ヲシテ居ル積カ、將タ責任ヲ以テ其間ニ立込
デ、此問題ヲ處分スル積デアアルカ、凡ソ歐洲問題ヲ支那ノ問題ト心得テ居
リハセヌカト考ヘル、歐洲問題ハ決シテ支那ノ問題ニアラズシテ、日本ノ問

題デアル、若シ是ガ單ニ支那ノ問題デアルナラバ、決シテ先日警告ヲ與ヘル必要モナイ、此問題ニ附イテ是マデ騒立タルト云フ必要モアリハセナイ、即チ是ハ日本ニ對シテ二種ノ大ナル利害ヲ保持シタル問題デアル、一ハ即チ日本ノ國防線デアル、滿洲朝鮮ノ如キハ日本ノ國防線デアル、國防線ヲ今日侵サレハ日本ノ貿易ノ市場、商工業ニ利害ヲ持ツタ所ニシテ、恰モ是ハ商工業者ノ田畑デアル、此滿洲ノ地ヲ侵サレ、國防線ヲ侵サレ、此田畑ヲ荒サレルト云フコトヲ考ヘルナラバ、是ハ決シテ支那ノ問題ニアラスシテ、日本ノ問題デア、何トシテモ是ハ支那ガドウモ氣ガ附カヌカラ困ル、支那ガ踏切テ此問題ヲ落著ヒヌカラ困ルト云フデ、他人ノコトニ考ヘテ居ルト云フコトハ、抑、間違ヒデアル、斯ク日本ノ利害ニ關スル、日本ノ今日國防線ニ係リタル問題デア、アリトスレバ、此問題ヲ片付ケルコトニ於テハ、支那ガ役ニ立タヌト云フナラバ、棄テルコト云フ譯ニハ參ラヌ、若シ支那ガ役ニ立タヌト云フキハ、日本ガ之ヲ片付ケルコト云フ要ガナケレバ、片付カヌ問題デア、又今日ノ形勢ヲ見レバ、即チ露西亞ト支那トノ場合ノ間ニ、十分ナル強力ナル援助ヲ得ルニアラザレバ、支那ハ此問題ヲ片付ケ得ヌト云フコトハ明デア、スレバ此十分ナル勢力アル援助ヲ與ヘルト云フ決心ガナケレバ、與ヘルト云フ決心ガナケレバ、此問題ハ片付カヌデア、然ラバ此問題ノ片付カザルニ延何日片付タトモ分ラヌト云フ間ニ、是ガ彷徨デ居ルニ、是ガ未ダ決心ガ附カナイデアハナイカ、宜シク此滿洲問題ノ落著スルト云フコトニ附イテハ、此當局者ノ頭ヲ決スルコトノ如何ニ關ハル、斯ク云フト、何日デモ實力問題ガ必ズ出テ來ル、若シ外交ガ進ンデ衝突スルト云フ點ニ立到レバ、實力ガ足ラヌト云フキハ、果シテ今日實際如何ナル日本ノ實力ガアルカト云フコトヲ御考ナサレ、何時デモ實力ノ不足ヲ以テ云々日本ノ實力ガアルカト云フコトヲ御考ナザル點ヲ補フテ、其道路ニ使フ道具ニナツテ居ルガ、決シテ實力ニ依ッテ日本ノ力ヲ云々スル必要ガナイ、若シ之ガ未ダ實力ガ具ニ弱イトスレバ、ドウデア、是ハ國家ノ飾リデハナイ、唯ニ平生ニ於テ看板ニスルノデハナイ、實力ナルモノハ即チ非常ナルトキニ使フタメノ實力デア、其非常ナルトキニ使フ實力ガ使ヘナイトナレバ、國防軍備ノ必要ハナイ、非常ナルトキニ使フモノニシテ置クト云フコトハ、即チ當局者ノ責任デア、又此非常ナルトキニ使ヘナイト云フ見込ガアルナラバ、ナセ擴張ヲシナイカ、或ハ今日ノ場合、列國各々我對手國ト或ハ將來認メタル、カモ知ラヌト云フヤウナ國ミデハ、隨分近來軍艦ヲ造リ或ハ軍備ノ擴張ト云フモノヲヤリツ、アルニ依ッテハ、此儘デ默デ居ラバ、果シテ實力ガ非常ナルトキニ合ハヌト云フコトニ至ルカモ知ラヌ、スレバ今日ハ其力ヲ計リ彼ノ増加スル所ノ力ヲ計シテ、吾レ亦之ニ備ヘルト云フコトハ、無論當局者ハ怠ルベカラザルコトデア、何モ海軍ヲ造ルニ軍艦ヲ家ノ中デ造ル譯ニモ往クマイ、兵隊ヲ倉ノ中ニ藏ス譯ニハ往カナイ、必ズ各國ノ軍備擴張ノ程度、其準備ト云フモノハ、歷々トシテ見エタ、アル、之ニ比較シテ其權衡ヲ維持シテ往クト云フコトガ、當局者ノ責任デア、以上ハ、決シテ實力云々ト云フ議論ヲ持出スト云フコトハ、無必要ナコトデア、然ラバ即チ此國トシテハ、何時デモ談判ノ破裂シテハ、國家不幸ニモ外國ト衝突スルト云フ場合ニ至レバ、其時デモ働ケルダケノ力ヲ持ツテ居ルベキモノデア、必ズ又日本ハ持ツテ居ルニデアル、スレバ當今日外交談判ノ上ニ於テ、或ハ躊躇シ或ハ凹ンデシマフト云フヤウナコトハ、是ハ實力ノ上ニアラスシテ當局者ノ即チ働ノ如何ニ在ル、デ滿洲問題

ニ對シテノ質問ハ是ニ止メマシテ、次ニハ此東亞ノ經營ト云フコトニ附イテ、當局者ノ御考ヲ承リタイト思フノハ、曾テ外務大臣ガ東洋經濟會ノ席上ニ於テ演說ヲセラレタコトガアル、支那ノ事件モ殆ド片付イテ、最早外交ハ心配ハナイ、外交ノコトガアル、最早談判ノ必要ガナイカラシテ、今日ノ急務ハ支那ニ對スル日本ノ商略如何ニ在ル、支那ニ對シテハ如何ナル商略ヲ以テ、如何ナル經營ヲスルカト云フコトハ、今日ノ大問題デア、自分ハ即チ一ノ經營ヲ持ツテ居ルケレドモ、今日レハ言ハヌ、諸君、此支那ニ對スル經營、支那ニ對スル商略ヲナセ攻究セヌカト云フコトヲ言ハレタコトガアル、其後最早數箇月ヲ經マヌケレドモ、此外務大臣、此政府ノ商略如何ニ附イテ、其端緒ヲ窺フコトモ出來ヌト云フノハ、如何ニモ残念ナコトデア、尤モ此内閣ニハ不言實行ト云フ主義ヲ持ツテ居ラレテ、何モ言ハズシテ事實ニ行フト云フ標識ヲ携ヘラレテ居ルカラ、或ハ言ハヌ中ニ行ハル、コトデア、ラウト思フテ居ルダ、未ダ之ヲ行ノ上ニモ之ヲ見出スコトハ出來ナイ、此商略如何ト云フ問題ハ、外務大臣ノ說カル、ガ如クハ、頗ル私ハ同感デア、誠ニ今日商略如何ト云フ問題ハ、容易ナラヌ問題デア、外交ノ大問題ト爲ラザル所デア、日本ノタメニ最モ力ヲ盡スベキ所ノ問題ト思フ、今日此東洋ノ經營ト云フコトニ附イテハ、諸君モ御承知ノ如クニ、獨逸、露西亞、佛蘭西、亞米利加、英吉利、皆各々今日競テ此東洋ノ經營ニ從事サレ最モヒドイ競爭ヲ支那ノ中部ニ於テハ起シテ居ル事實デア、凡ツ此東洋經營ノ大切ナルコトニ入ル前ニ當ッテ、支那ニ對スル日本ノ貿易如何ト云フコトヲ考ヘテ見ルニ、支那ノ貿易ナルモノ、上ニ於テ、外國貿易ノ上ニ於テ一番其大切ナル輸出入ノ貿易ノ大ナルモノハ即チ英吉利トス、英吉利ガ支那ニ對スル貿易ト云フモノハ、一年ニ五千四百萬兩ノ貿易ヲ持ツテ居ル、其次ニ亞細ヤニハ即チ日本デア、五千三百萬兩ノ貿易ヲ持ツテ居ル、而シテ又日本ノ外國貿易ト云フモノ、點カラ見ヌスレバ、亞米利加英吉利ヲ除イタナラバ、即チ支那ヲ以テ第一トスル、殊ニ此日本ノ貿易ニ於テ最モ大切ナルモノハ、即チ此日本ノ製造品ヲ賣捌ク市場ト云フモノハ、世界中支那ガ第一デア、或ハ亞米利加ヘ生絲ヲ輸出スルガ如キハ、金高ニ於テハ多ケレドモ、即チ是レハ未製品デア、此日本ノ紡績其他製品ヲ需要スル所ノモノハ、即チ支那ノ市場デア、而シテ此日本ノ貿易品製造品ト云フモノハ、一番需要ヲシテ一番金高ノ多イ所ハ支那デア、日本ノ貿易ハ此處數年ヲ出デズシテ、忽チ日本ノ貿易中支那ニ對スル貿易ハ、世界ニ對シテ一番第一位ヲ占ムルコトニハセメカ、或ハ又支那ノ貿易中世界ニ對スル上ニ於テ、日本ト取引ガ支那ノ割合ヲ考ヘテ見テモ、實ニ驚クベキ速力ヲ以テ進歩ヲシテ居ル、此ノ如ク支那ニ對スル日本ノ貿易ト云フモノ、如何モ、大切ナ關係ヲ有ツテ居ッテ、更ニ將來日本ノ經濟ヲ維持シ、日本ノ貿易ト云フモノ、對手ト爲ッテ、日本ノ繁昌ト不繁昌ノ岐ル、所ト爲ルモノハ、即チ支那デア、支那ノ貿易ニ依ッテ日本ハ活キテ居ル、支那ノ貿易ガ衰ヘルト日本ガ亡ビルト云フ位ナ、大切ナ關係ヲ有ツテ居ル、スレバ此支那ニ對スル經營ニ於テモ、歐羅巴列國ノ今日支那ニ對スル經營ト云フモノヨリハ、遙ニ上位ヲ占メテ居ラナケレバ、露西亞ノ如キハ纔ニ支那ニ對スル貿易ハ二千二百萬兩、日本ノ半分ニモ及バナイ、歐羅巴列國悉ク集メテ來テモ、英吉利ヲ除ク外ヲ悉ク一緒ニシテモ、四千八百萬兩シカナイ、日本一國ノ貿易ニ對シテモ劣ルコト七百兩下テ居ル、其吾ニ劣ル貿易ノ上ノ利害ヲ持ツタ國ニシテ、尙

日本且ツ支那ニ對スル經營ト云フモノハ、駭々トシテ進デ居ル、之ニ對シテ、
 日本ガ利害ト平行シタ位置ヲ維持シテ往カウト云フナラバ、歐羅巴列國ヨ
 リハ一倍若クハ二倍ノ經營ヲシナケレバナラヌガ當然デアル、此今日ノ經
 營ヲ怠ルト云フ結果ハ、數年ノ後ニハ日本ノ貿易ト云フモノハ、悉ク支那
 ノ大陸カラ驅逐セラレテ、歐羅巴ノ貿易ガ茲ニ全勝ヲ占メルト云フコトニ
 立到ルハ明デアル、何トナレバ、今日歐羅巴ノ經營ガ鐵道ト航路トヲ結ビ附
 ケ、陸ト海トヲ結ビ附ケルト云フ、此大經營ガ成就シタ以上ハ、即チ日本
 ノ貿易ハ、必ズ歐羅巴ノタメニ奪ハレルト云フコトヲ見ヌケレバナラヌ、
 其大切ナル支那ノ市場、支那ノ利害ト云フモノ、第一ノ位置ヲ占メテ
 居ル日本ニシテ、此支那ノ經營ニ對シテ、何等ノコトモシテ居ラヌハ、如
 何ニモ驚クベキコトデハナイカ、是ハ今日ハマダ目ノ面タリ其實ガ見ユヌ
 カラ、安々トシテ居ルケレドモ、即チ無形ノ間ニ日本ノ貿易ハ、殺サレテ、ア
 ルモノト見ヌケレバナラヌ、歐羅巴ノ貿易ハ無形ノ間ニ其勢力ヲ占メルノデア
 ル形ニ現レルニ於テハ、日本ノ貿易ヲ奪フテシマフト云フ位置ニ立至ルノデア
 ル、然ラバ此支那ニ對スル經營ハ、一日一刻モ緩ウスベカラザル問題デアッテ、
 而シテ此事ニ著手シテ居ナイ、斯ウ申スト云フト、凡ソ政府ガ前進シテモ、
 國民ガ之ニ附イテ來ヌケレバ、仕方ガナイヂヤナイカト云フ議論ガ起ッテ來
 ル、政府ガ如何ニ進デヤツテモ、人民ガ一向ツレニクツ附イテ來ヌ以上ハ、
 仕方ガナイヂヤナイカト云フコトハ、往々世間ニ耳ニスル所デアリマス、是
 ハ何カラ起ツタカト言ヘバ、支那ノ專管居留地ノ問題、專管居留地ト云フモ
 ノヲ拵ヘテモ、人民ガ往ッテ家ヲ建テナイト、斯ウ云フ之ヲ材料ニシテ、即チ
 日本人民ト云フモノハ、如何ニモ意氣地ノナイヤウニ言ヒナシテ居ルト云
 フコトハ、最モ是ハ誤デアル、凡ソ專管居留地ノ如キモノハ、サウ此處ハ場所
 ヲ拵ヘタカライ、直ニ人民ガ往ッテ其處ヘ家ヲ建テルト云フ問題デナイ、サウ
 云フ物柄デナイ、何レノ國ト雖モ、歐羅巴列國ノ國ト雖モ、居留地ヲ拵ヘタ
 カラ、直グニ其處ニ人民ガ充滿スルト云フモノデナイ、即チ其經營ヲシテ、
 其政府ガ前進ヲシテ設備ヲシテ置ケバ、續々續々人民ガ段々歲月ヲ經ル間
 ニ、其處ニ集マルト云フ譯ノモノデ、決シテ之ハ一時ニ人ガ集マルト云フ、
 元來性質柄ノモノデナイ、夫等ノ事ヲ以テ政府ガ進デヤツテモ、人民ガクッ
 附イテ來ナイト云フコトヲ云フケレドモ、是ハ大ニ間違ッテ居ル、現ニ人民
 ガクッ附イテ往ッテ居ルデハナイカ、即チ此朝鮮ニ於ケル京釜鐵道、或ハ京
 仁鐵道ノ如キモノヲ御覽ナサイ、是程日本人民ガ内ニハ疲弊シタト云ヒ、財
 政ガ困難デアルト云フニモ拘ラズ、一タビ政府ガ國ノタメニ得テヤツタ所ノ、
 鐵道敷設權ト云フモノハ、決シテ之ヲ空シウスルコトニハイケンイ、國ノタ
 メニ——日本ノ國ノタメニ、如何ニ内ニハ困難シテモ、進デ此募集ニ應ズ
 ベシト云フ勢デ、即チ京釜鐵道京仁鐵道ハ、著々此事業ヲ進メツ、アルト云
 フコトヲ見テ、如何ニモ日本人民ト云フモノハ頼母シイ、此愛國の斯ノ如
 キ事柄ニ向ッテハ、決シテ後レヲ取ツタコトハナイノデアアル、若シ日本政府
 ガ列國ト共ニ、此支那ニ於テモ、鐵道敷設權若クハ鑛山ノ採掘權ヲ、先キニ
 得テアツテ御覽ナサイ、今日ハモウソレニ著手シテ居ルニ違ヒナイ、ツマリ
 此人民ヲ輕蔑シ、人民ヲ見クビッテ人民ハ何モ事ヲ爲シ得ヌト云フコトノ
 憶測カラ、遂ニ取ルベキ權利ヲ取ラズ、著手スベキ計畫モ著手シナイト云
 フコトガ、遂ニ日本國ヲテ萬國ノ間ニ機先ヲ制セラレテ、種々様々ノ經營
 上ニ附イテ、後レヲ取ラシムル所以デアル、是ハ私ハ獨リ此時ノ政府ヲ攻メ
 ルト云フノデハナイガ、全體政府ノ態度ト云フモノガ、是マデサウ云フ態度
 デアル、始終國ノ上ニ於テ後レヲ取ツテ來テ居ル、此支那經營ノ事ニ附キマ

シテモ、先ヅ事柄ヲ擧ゲレバ、或ハ日清銀行ノ如キアリ、鐵道ノ如キアリ、航路ノ如キアリ、種々ナコトガアルガ、免ニ角支那ニ附イテノ經營上ニ於テ、一ノ調査モ探檢モシナイト云フコトハ、如何ニモ是ハ怠慢ノ至デアラウト思フ、先ヅ事業ニ直チニ著手スルト云フ前ニ、必ズ必要ナルモノハ、此探檢調査デアル、其探檢調査モ出來テ居ナイ、探檢調査モ之ヲシヤウト云フ計畫ガナイト云フコトニ至ッデハ、實ニ驚クノ外ハナイ、又今日ノ場合此支那ノ經營ト云フモノニ於テ、政府ハ何モ構ハヌ、人民ガヤレバ宜イト云フ人ガアルカモ知レヌガ、是ハ實ニ形勢ニ迂ナル人ノ考デアッデ、今日ノ場合個人トシテ、決シテ此支那經營ト云フヤウナ大事業ガ出來ルモノデハナイ、歐羅巴亞米利加ノ智識ニ富ミ、資本ニ富ミ、技術ニ富シテ居ル所ノ、殊ニ對外の事業ニ經驗アル所ノ人民デスラ、尙ホ單獨孤立シテ決シテ此事業ヲ企テルコトハ出來ヌデス、即チ國力ノ援助ヲ與ヘテ遣ラシテ居ル、日本ニ於テモ斯ノ如キ對外のノコトハ、必ズ國家ノ力ヲ貸シテ大ニ援助スル所ガナケレバ往カヌコトハ、明ナコトデアアル、今ノ場合ニ於テ、日本國民ガ一年ニ百圓ヲ二萬圓ノ金ヲ仕出しテ、此經營ノタメニ盡スコトハ、人民決シテ困ラヌ、如何セン此局ニ——其道ニ當ル所ノ人カラ、一向何等ノ提案モナク何等ノ計畫モナイト云フニ至ッデハ、遂ニ著手スルト云フ機會ガナイデハナイカ、此支那經營ト云フコトニ附イテハ、固ヨリ其事ハ百端アルコトハ百端アルガ、免ニ角先ヅ此調査探檢ト云フ方カラ手ヲ著ケルト云フコトハ、第一必要デアルノミナラス、其他ニモ事實ニ於テ、其事業ニ直チニ著手セラレルモノモ澤山アリマセウ、ツマリ此東亞ノ經營、日本ノ商略ト云フモノヲ極メルト云フコトガ必要デアル、商略ヲ極メテ、而シテ是ニ著手スルト云フコトガナケレバ、遂ニ百年清メルヲ待ツト云フ譯デ、到頭此機會ヲ失フコトシマフ、又殊ニ今日ニ於テ機會ヲ失スルト云フコトハ、他日其再ビ之ヲ取還スコトガ出來ヌト云フコトニナッデ來ル、是ガ東亞經營ノコトニ附イテ、當局者ニ大ニ勸告ヲシシテ勸メル所ノ點デアリマス、而シテ此次ニ朝鮮ノ問題ニ就イテ、質問ヲ爲ス個條ガアリマス、朝鮮ノ問題ト云フモノハ、如何ナル點ニ於テ質問ヲスルカ、朝鮮ノ問題ニ就イテ大キク申セバ、當局者ハ朝鮮ヲドウスル積デアルカ、朝鮮ノ現狀ヲ維持シ、獨立ヲ保護シテ、遂ニ確乎タル抜クベカラザル礎地ヲ作ッテ往カウト云フノ、趣意デアアルカ、朝鮮ヲ棄テ、逃ゲル積デアルカ、或ハ朝鮮ヲ分割スルト云フヤウナ段々議論モアルラシイガ、ドウスル積デアルカ、殊ニ此際私ハ最モ憂慮ニ堪ヘズ說ヲ耳ニスルノデアアル、ソレハ寧ロ外ト云フヨリハ内デアアル、隨分此日本ノ政海ニ於テ有力ナル元老ニハ、朝鮮ヲ或ハ大同江ヨリ分割シテ、一半ヲ露西亞ニ與ヘ、一半ヲ日本ニ取ルト云フ說ヲ懷カレテ居ル——懷カレテ居ルノミナラズ、サウ云フ說ヲ唱ヘラレテ居ル人ガアル、又或ハ朝鮮ノコトハ最早爲スベカラズ、斯ウ云フ面倒ナ所ハ棄テ、モウ更ニ係リ合ハヌト云フ說ヲ唱ヘラレテ居ル人モアル、是ハ決シテ一個々々ノ人ノ說デアッデ、採ルニ足ラヌト云フ人ガアルカモ知ラヌガ、併ナガラ日本ノ今日ノ狀態ニ於テハ、隨分元老ノ相談ヲ受ケ、元老ノ指圖ニ依ッデ動クト云フ形勢モアル、此世ノ中ニ於テハナカク有力ナル元老ノ間ニ、サウ云フ說ガアルト云フコトハ、如何ニモ恐レバキコトデアリテ、抑此朝鮮ト云フモノ、歴史ハ、最早喋々スルコトヲ待タズ、之ヲ概括シテ、申セバ、即チ朝鮮ハ日本勢力圈内ニ歸シタルコトガアリ、日本ノ屬國ト爲シタルコトガアル、或ハ屬國ト爲リ或ハ勢力圈内ニアッデ、始終變遷シテ來テ居リマスケレドモ、遂ニ歷史上ニ於テ事實ニ於テ、日本ノ勢力以外ニ朝鮮ヲ置イタコトハナイ、即チ此日清戰爭ナルモノハ、其真相ヲ申セバ、朝鮮ノ勢力圈内ノ爭デ此戰爭ヲシタノデアアル、或ハ朝鮮政府ヲ支那ノ公使ガ往

特色、指圖ヲ與ヘル、日本公使ガ色、勢力ヲ有シテ來タ、互ニ其勢力ヲ爭テ、遂ニ支那ト日本ト衝突ヲシテ、朝鮮ノ勢力圈ヲ爭フタメニ、明治二十七八年ノ戰爭ガ起リテ居ル、即チ此戰爭ノ結果ハ如何ニナツタカト云フト、即チ日本ガ勝ツテ支那ガ負ケタト云フコトハ、勢力圈ノ確定期デア、支那ガ最早爭フコトガ出來ナクナツマツテ、全然日本勢力圈ニ朝鮮ト云フモノハ陷ジシマツタ、而シテ此朝鮮ナルモノハ純然タル日本ノ勢力圈中ニ在ルト云フニ當ツテ、此儘朝鮮ヲ分割スルモノハ、朝鮮ノ棄テト云フ方ノ側ノ勢力家ニ於テハ、如何ナルコトヲ爲サレタ、日露協商、日露協商ト云フコトニ至ツタノハ、殆ド無意味ナル日本ノタメニハ、有害ナル是程馬鹿氣切タル協商ハアリハシナイ、日本ガ支那ト折角戰フシテ、日本ノ勢力圈ヲ確定シテ置イタモノヲ、何デ之ヲ露西亞ニ與ヘル、日本ノ勢力ニ於テ爭フコトノ出來ヌ場合ニ於テ、即チ此朝鮮ノ勢力ヲ割イテ、御前ハツチノ半分ダケ勢力ヲ有セヨ、己ハ半分ダケ勢力ヲ有スル、互ニ是カラ先キハ同等ノ權力ヲ有ツテ、朝鮮ニ臨マウヂヤナイカト云フコトハ何事デアル、此ノ如ク馬鹿ナ此ノ如ク日本ノ不利益ナル條約協商ナルモノハ、殆ド世ノ中ニ稀ナル所デア、而シテ此協商ヲ結ンデ、ソレナラ露西亞ト協商ヲ結ンデ以來、其協商ノ我モ守リ彼ニモ守ラセルカト云フニ、決シテサウデナイ、屢、此日露協商ノ現立シテ居ルニモ拘ラズ、此日本ノ利益ヲ侵害セウレタ例ト云フモノハ、枚舉ニ遑アラズ、例ヘバ馬山浦問題、鎮海灣問題、若クハ借款問題、續トアツテ、此協商以外ニ起リタ問題ハ、悉ク日本ノ利益線ヲ害シ、日本ノ權利ヲ害シタ事實ガ現ハレテ居ル、此既ニ今日ノ如キ現ニ露西亞ガ、豆滿江ヲ越ヘテ慶興府ニ到ル電信ヲ架ケテ、朝鮮政府ヘ無斷デ之ヲヤツテシマツタ、所デ、朝鮮政府ハ大ニ狼狽シテ、ドウカ此電信ヲ取除ケテ吳レト運動ヲスルケレドモ、ナカク承知セヌ、是レ何事デアル、朝鮮ニ對スル決シテ是ハ侮辱デハナイ、日露協商ニ於テ即チ侵犯スルモノデアル、此ノ如ク此日露協商成立以來、日本ノ利益線ヲ害サレ日本ノ勢力圈ヲ段々短縮サレツ、アルト云フ形勢ハ、如何ニモ憂慮ニ堪ヘヌコトデアル、遂ニ今日ノ如キ形勢ヲ以テ立オレバ、外ニモウ一ツ日露協商ガ出來テ、日本ノ僅ニ釜山ニ於テ居留地ヲ有スル位ノ協商ガ出來ルカモ知ラヌ、斯ノ如キ此日本ノ條約ヲ結ビナガラ、其餘約ヲ嚴守スルト云フ活動ヲシナイト云フモノハ、如何ニモ是ハ其當局者ニ於テ大ニ顧ル所ガナケレバナルマイ、抑、朝鮮ニ於テ斯クモ我利益線ヲ侵サレルト云フコトハ、何デアアルカト云ヘバ、畢竟侵スベカラザルノ位置ニ朝鮮ヲ置イテ居ナイト云フノガ、誤デア、今日ノ儘ニ捨置ケバ、是ハ此後又屢々斯ウ云フ問題ガ起ツテ來マスルガ、倭愈々當局者ガ朝鮮ヲドウスルカト云フ問題ニ附イテ、朝鮮ノ現狀ヲ維持シ、朝鮮ノ獨立ヲ、何處マデモ保存シテ往クト云フ考ニナツテ、其方針ガ定ツテ、茲ニ一度斷乎タル處分ヲスルニ於テハ、爰ゾ區々マチノクニ將來煩シキ事件ノ起ルコトノナイヤウニ、其根本ヲ斷ツト云フコトハ、誠ニ容易イコトデアラウト思フ、此問題ハ朝鮮ノ事態ニ附イテ、更ニ將來此紛亂ヲ避ルト云フ手段ヲ、今日ニ於テ施シ朝置カズシテ、此儘ニ朝鮮ヲ措イテ置クコトデアラツタ以上ハ、遂ニ朝鮮ト云フモノハ、日本ノタメニ大ニ不利益ナル位置ヲ取ルデアラウト考ヘル朝鮮ニ對シテドウスル、若シ又朝鮮ニ於テ愈々朝鮮ノ現狀ヲ維持シ、獨立ヲ保存スルト云フ考ナラバ、決シテ今日此政治上ノミナラズ、他ノ朝鮮ニ對スル事業ノ上ニ就イテ、餘程運バセシケレバナラヌ問題ハ多々アラウト思フ、例ヘバ北京釜鐵道ノ如キモノモ、追々ト進行シテ往キマスルケレドモ、遂ニ此釜鐵道ノ效力效果ヲ收ムルト云フコトニ附イテハ、所謂進デ京義鐵道ニマデモ及バンケレバナラヌト思フ、朝鮮ノ即チ此事業ト云フモノハ、朝

鮮ノ政治ト密著シテ居ルノデアル、朝鮮ニ對スル事業ヲ進ムレバ、自ラ政治的勢力ヲ進デ往ク、政治的ノ十分ナル此利益ヲ保護スル所ノ勢力ガ増シテ往ケバ、即チ事業モ進デ往ク、唯茲ニ於テ當局者ノ方針ノ立方如何ニ依ツテ、朝鮮ノ運命ト云フモノハ決セラル、ノデ、此朝鮮ノ問題ニ就キマシテハ、イヅレ當局者ガ質問ヲシテアル要點ニ向ツテ答ヘラル、ヲ待ツテ又更ニ考ヘヲ述ベル積デアリマス、此次ニハ此濠洲ニ於テ日本人ノ排斥ヲセラルコト云フコトノ個條デアリマス、此濠洲ニ於テ、此度日本人ガ排斥條例ノ通過ニ依ツテ、今後西洋語ノ試験ヲ受ケテ、ソレニ及第スルニアラズ、濠洲へ入ルコトハナラヌコトニナリマシタコトハ、新聞紙上ニ於テ諸君モ御存ジノ通デア、此濠洲ノ問題ナルモノハ、私ハ寧ロ此朝鮮及滿洲問題ノ大切ナルヨリモ、モット之ヲ大切ナル問題デアラウト考ヘテ居ル、其故ハ濠洲ニ於テ日本人ガ歐羅巴語ノ試験ヲサレテ、及第スルト云フコトハ、是ハ最モ罕ニ及第スル人ガアリマセウカ知ラヌガ、詰リ此試験ヲ受ケテ及第スルト云フヤウナ人ニ、濠洲へ行クコトノ必要ナル人ハナイデアアラウ、スレバ濠洲ノ移住民條例ナリモノハ、取リモ直サズ日本人ニ對シテ、今後日本人ハ同等ノ人間ニ看做サヌニ依ツテハ、濠洲ノ中ニハ足踏スルコトハナラヌコト云フコトノ意味デアラル、斯ノ如キ問題ヲ若シモ各個人ノ交際上ニ持ツテ來テ、當籍メテ見マシタナルバ、ドウ云フ姿ニナリマスカ、互ニ交際ヲシテ出入ヲシテ居ル間ニ於テ、御前ハ今後非人ト看做ス、己ノ門内ヘハ這入ルコトハナラヌゾ、併シ己ガ御前ノ家ニ用事ナルトキニ往クコトハ、此例外デアル、斯ウ云フ姿ニナルデハナイカ、濠洲ニ日本人ガ行クコトハナラヌガ、濠洲ノ人ハ日本ニ自由ニ來タイトキニハ來ル、斯ウ云フ狀態デアル、是ハ單ニ移住民ノ問題ト心得テ居ラレテハ、私ハ大ナル間違デアラウト思フ、即チ此四千万ノ人民ノ一大問題デア、日本ノ國ガ世界ノ此面ニ立ツテ、萬國ト交際ヲスル上ニ於テ、日本人ノ侮辱サレタコト、日本人ノ輕蔑ヲサレタルコト、日本人ナルモノハ殆ド普通當リ前ノ人間デハナイト云フ、即チ茲ニ宣告ヲ受ケタモ是ハ同様ノ事柄デア、此重大ナル問題、此侮辱ヲ一國ガ侮辱ヲ同胞四千万悉ク世界ニ向ツテ宣告ヲセラレテ、是ハ人非人デア、同等ノ人間ノ取扱フスベキモノデナイト云フ宣告ヲ受ケテ居リナガラ、日本人ガ之ニ向ツテ何等ノ憤激モナク、又何等ノ之ニ向ツテ日本ノ態度ヲ決セザルト云フコトハ、如何ナルモノデア、日本人ガ大キナ顔ヲシテ、亞米利加歐羅巴ト旅ヲシテ、是マデ往キヨルヤツガ、如何ナル顔ヲシテ是カラ先外國ニ往來ガ出來、外國人ト交際ガ出來マスカ、凡ツ斯ノ如キ國ガ侮辱ヲ受ケタコトハ、私ハ古今未曾有ノコトデアアラウ、此吾々ノ時代ニ於テ、此明治年間ニ於テ、斯ノ如ク國ノ品位ヲ墜サシタト云フコトニナレバ、吾々子孫ニ對シテモ、實ニ責任ヲ負ハヌケレバナラヌデアラウト思フ、此重大ナル侮辱ヲ、如何ニモ千古拭フベカラザルノ境遇ニ落サレナガラ、日本ノ人間ガ今日マデ之ヲ默シテ居ルコト云フハ、ドウシタモノデアアル、日清戰爭ニ得タル所ノ名譽ハ何レニ在ルカ、消ヘ去ッテセメント企ツテ計畫ハ、三十年來日本ヲ文明ニ進メテ來テ、折角世界ノ仲間入ヲシメント企ツテトシテハ、眦ヲ裂イテ、是ハ大ニ此問題ニ於テハ、攻究ヲスベキ問題デアラウト思フ、然ルニ世ノ中ノ形勢ヲ見テ見レバ、數百ノ新聞紙ハアレド、此事ヲ憤ルモノハナシ、又三百ノ議員ハ議會ニ集ツテ居レドモ、此事ニ於テ決シテ是マデ說ヲ唱ヘシレル人モ聞カヌ、政府ハ嚴然トシテ居リナガラ、此事件ニ對シテ決シテ廟議ヲシタト云フコトモ聞カナイ、私ハ實ニ今日ハ四千万ノ國民ハ、喪服ヲ著テ居ルベキトキデアアラウト思フ、廟堂ハ之ガタメニ廟議ヲ開イテ、大ニ此問題ニ對シテ處分ヲ講ズベキトキデア、若シ

國會開設ノトキニアラズンバ、臨時議會ヲ開イテモ、此問題ハ攻究ヲシナケレバナラヌ大事デアアル、斯ノ如ク重大ナル問題ヲ、之ヲ知ラヌフリヲシテ居ル、若クハ之ヲ知ツテモ尙ホ差シタル心頭ニ懸ケズシテ、之ヲ看過シテ代表スル所ノ此國會ナリモノ、此我四千万ノ同胞一ノ愛國者ガナイカ、又國民ヲ代表スル所ノ此國會出席ヲスベキトモ、此問題ノ落着ヲ見ズンバ、實ニ日々喪服ヲ著テ、此議場ニ出席ヲスベキト云フ重大ナル問題デアアル、若シ日本ニ於テ今日此耻ヲ拭フコトガ出來ナカッタト云フナラバ、兵隊ハ何ノタメニアル、軍艦ハ何ガタメニ繋グ、日清戦争ニ戦ツタ軍人ハ今何レニ居ル、黃海ノ戦争ニ名譽ヲ得タル軍艦ハ何處ニ繋イデアアル、此問題ニ於テハ實ニ日本四千万ノ人民ハ、泣イテ萬國ニ訴ヘ、萬國ノ輿論ヲ以テモ、此問題ノ解決ヲシナケレバナラヌト云フ譯デアアラウト考ヘル、殊ニ此日本人排斥問題ト云フモノハ、一朝一夕ニ成立ツタモノデハナイ、豫テ是ハ濠洲聯邦議會ニ於テ此案ガ出テ、而シテ濠洲聯邦政府ニ於テモ、此事ニ附イテ種々ノ評議ヲ凝シツ、アルト云フコトハ、前々カラ分ツテ居ル問題デアアル、又此今年ノ議會ニ現レル問題ニアラズシテ、數年以前カラ此問題ハ將ニ已ニ起ラントシツ、アツタ問題デアアル、然レドモ今日マデハ幸ニシテ英吉利政府ノ盡力ニ依リ、此問題ヲ漸クト押止メテ來テ居タノデアアル、然ルニ今年ノ形勢——昨年以來ノ議會ノ形勢ト云フモノハ、餘程此問題ノ歩ヲ進メテ參リマシテ、ナカク、容易ナコトデ之ヲ防グコトガ出來ヌト云フ形勢ニ立至ツタ場合ニ、英吉利ノ殖民大臣チヤンパーレンハ、濠洲聯邦政府ノ總理大臣ニ向ツテ訓令ヲ下シテ居ル、其訓令ニハ此日本人排斥案ナルモノヲ通過スルト云フコトハ、容易カララヌコトデアアル、今日東洋ノコト多事ニシテ、日本國トハ最モ英吉利ガ相親シデ事ヲ俱ニセンナラヌ場合ニ於テ、若シ一朝ニシテ此問題ヲ——此排斥案ナルモノヲ通過セシムルニ於テハ、終ニ英吉利ヲシテ東洋ノ事件ニ對スル政策ヲ過タシムルコト云フ結果ガ來タルノデアアル、故ニ極力之ヲ押ヘ止メテ、此問題ノ通過ヲサセヌヤウニ圖ラナケレバナラヌト云フ訓令ヲヤツテ居ル、其中ニ日本ノ今日ノ勢ガ、今日ノ位置ハ昔日ト違ツテ、餘程ノ強大ナル力ヲ持ツテ居ル國柄ト爲ツテ居ル、若シ濠洲ニ於テ日本人ヲ排斥スルト云フヤウナコトニナレバ、或ハ日本ノ人心ヲ激シテ、タメニ一朝日本ガ決心ヲスルト云フコトニナレバ、隨分濠洲ニ對シテ「レブライサル」ヲ行ヒ兼ネヌト云フ力ヲ持ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フコトヲ云ツテ、此議案ノ通過ヲ防イデ居ル、此所ノ訓令ガ出デ居ル、是ハ私ハ我當局者ニ於テモ、大ニ此意味ヲ了解シテ、此時ニ及ンデ十分ニ防禦ノ政策ヲ取ラナケレバナラヌデアラウト思フ、ツマリ此濠洲ノ日本人排斥案ナルモノハ、濠洲ノ勞力者——濠洲ノ無智無識ナル此多數ノ勞力者ノ勢力ニ依ツテ、是ハ成立ツテ通過シタ問題デアアル、苟モ具眼ノ政治家、凡ソ世界ノ形勢ノ分ル政治家ハ、濠洲ノ人間ト雖モ、決シテ此案ノ是ナルコトヲ認メナイ、唯普通選舉ノ國ニ行ツテ、此選舉人ノ勢力ニ制セラレテ、遂ニ政治家モ玆ニ至ツタ形跡ハ歷々トシテアル、然ラバ此際ニ於テ、英吉利政府ガ大ニ此警告ヲ與ヘテ、濠洲ノ人民ト云フモノニ、其忍ルベキコトヲ諭スト同時ニ、日本ノ勢力日本ノ品位ヲ維持スルタメニハ、或ハ即チ人民保護ノタメ、或ハ巡回ノタメ、軍艦運動ヲスルニモアラズ、唯此英吉利政府ノ警戒ヲ與ヘル所ノ意ト相應シテ、日本ノ外交ハ働イタナラバ、或ハ此問題ハ容易ク差止メラレルコトガ出來タカモ知レヌ、斯ウ云フ重大ナル問題デアアルニ、未ダ一人ノ位地ノアリ勢力ノアル外交官ガ、濠洲ヘ派遣セラレタコトモ聞カナイ、又今日ノ場合ニ立到ツテ居ルガ、之ガタメニ何等ノ外交ヲ開カレタ交渉ヲ開カレタト云フコトガナイト云フノハ、何デアアルカ、

ノコトニ於テ、斯ウ云フ日本ノ國ノ體面ニ係リ、又列國ニ於テ餘リサウ云フコトヲシナイヤウナコトハ、少シク注意サレタラドウデアラウカ、又斯ウ云フコトガ事實、私ハ行ハレヌト思フカラ、速ニ是ハ撤回サレタガドウデアラウカ、併ナゲル當時割増金ノ成行ハ、ドウナツテ居ルコト云フコトハ、承リタイト考ヘラ、是ハ餘リ單純ナ問題デアリマスカラ、是ダケニ止メテ措キマス、此次ニ外債募集ノ政府ノ始末ト云フコトニ附イテ、一言陳ベタイト思フ、外債募集ニ失敗ヲサレタト云フコトハ、既ニ世ノ中ニ明ナコトニナツテ居リマシデ、此議會開會スルヤ各質問ヲセラレテ、又政府カラ答ヘラレタ所ノコトモ承知シテ居リマスカ、私ハ此外債ノ善惡ヲ言フノデハナイ、外債ヲスルガ善イトカ惡ルイトカ云フコトハ別問題デ、唯此外債ノ顛末ヲ明ニスル必要ガアルト云フコトヲ言フノデアル、是ハ凡ソ過ギ去ッタコトヲ申ナガラ過去ツタコトヲ正シテ、而シテ後此ノ過ヲ防グノデアル、又議會ナルモノハ、當局者ガ當時進行中ノ事柄ヲ聞ク權利ハナイ、又強デ言ハセルト云フコトハ不利益デアル、又當局者ハ即チ事業進行中、交渉進行中ニ在ル事ト云フモノハ、便利デアルハ言ハヌ方ヲ便利シテ居ル、併ナガラ過去ツタコトニ於テ、之ヲ言ハレヌト云フコトハナイ、又寧ろ過去ツタコトヲ明ニスルト云フコトハ、即チ當局者ノ是ハ責任デアル、議會モ亦過去ツタコトヲ聞イテ、而シテ此真否ヲ斷ジテ監督スルノ權利ヲ持ツテ居ル、若シ過去ツタコトヲ言ハズ、現場ノ進行中ノコトヲ言ハズ、無論未來ノコトヲ言ハヌトシタナラバ、此議會ト云フモノモ何ヲ聞クノデアルカ、聞クコトモナケレバ、此行政權ヲ監督スルト云フ位地ニ立ツタ、此立法院ノ仕事ト云フモノハ、何レニ在ルカ、是ハ私ガ攻撃スルト云フ意味デハナイガ、此外債談ニ附イテハ、議論紛々批評紛々トシテ居ル場合ニ當ツテ、當局者ハ之ヲ明ニシテ見タナラバ、案外當局者ノヤリ方ハ尤デアツタト贊成スルカモ知レナイ、免ニ角此事實ヲ明ニシ顛末ヲ明ニスルト云フコトハ、當局者ガ是ハ爲スベキコトデハナイカト思フ、又此質問ニ對シテ言ハヌトカ、言ヘヌトカ、言ハレヌトカ、聞カウトカ云フコトノ押問答ヲシテ居ルガ、是ハ如何ニモ呆レ返ツタ話デアル、之ヲ言ハレヌト云フコトハ、即チ私ノ事柄ニハ言ハヌト云フ權利モアルガ、言ハレヌ事柄モアルガ、政府ガ公ノコトヲ爲シツ、アル上ニ於テ、其過去ツタ事實ヲ明ニスルト云フコトハ、大變ニハ政府モ愉快ナ話デハナイカ、若シ之ヲ強イデ言ハレヌト云フコトニナリマスルト、益々疑ガ起ツテ來ルノデアル、凡ソ政治上ニ於テ、此外交程祕密ヲ要スルトコトハナイガ、其外交ノ如キスラ、過去ノコトヲ言フガ當然ナコトデアル、何處ノ國デモ之ヲ隱ス所ノ國ハアリハシナイ、然ルニ當局者ノ辯解ヲ見マスルト、一種ノ言葉ヲ發明セラレテ、瀾踏ヲシツ、アル、瀾踏ヲシツ、準備ヲシツ、アツタ所デ、終ニ止メタノデアツデ、決シテ外債ヲ募リハシナカッタ、失敗ハシナカッタト云フ答辯が見エテ居リマスカ、是ハ甚ダドウモ受取レナイ説ト見エケレバナラヌ、何トナレバ此瀾踏ヲシツ、アルト云フコトノ論法ハ――是ハ瀾踏ヲシツ、アツタト云フコトノ論法ヲ推シテ見マスルト、詰リ約束ヲシテ金ヲ受取ツテシマフマデハ瀾踏ヲシテ居ツタト、ツレナツバ言ヘル譯デアアル、此ノ如キコトハ三百のモグラ代言杯ノ言フコトデアラッ、堂々タル政府ノ辯護トハ受取レナイ、凡ソ此事ニ附イテ口ヲ開クノ必要ハ何レニ在ルカト云ヘバ、申サバ私ハ國ノ信用ヲ保護スルタメニ、此顛末ヲ明ニスベシト云フ論デアル、抑日本ノ國ガ外國ニ對シテ、未ダ曾テ一厘半毛ノ損耗ヲ掛ケタコトガアリマスカ、國ヲ開イテ萬國ト交際ヲ始メテ以來、日本ノ國トシテ信用ヲ墜ス舉動ヲシタコトハ一度モナイ、日本ノ國ガ五千萬圓ノ金ガ借りラレナカッタト云フ程ノ、薄弱ナ

信用デアルカ、將タ當局者ノヤリ方ガ面白クナカッタガタメニ、是ガ失敗ニ
歸シタカト云フ疑ヲ明ニスル必要ガアレ、又日本ノ國ニシテ、若シ此信用ガ
ナイガタメニ、五千萬圓ノ金ガ借りラレナカッタトモ、尙ホ私ハ此汚名
ヲ國家ニ被セルト云フヨリハ、之ヲ個人ガ此責任ヲ負フトモ、習慣ハ、甚ダ
私ハ必要ナラバ、仕事デアル、其精神ヲ以テセバ、國家ノ不信用モ尙ホ自
ニ之ヲ被ルト云フ位、愛國心ガアツテモ宜カラウト考ヘル、敢テ此事ハ當
局者ヲ責メテ、サウシテ徒ニ其事ヲ窮追スルト云フ意味デハアリマセヌガ、
免ニ角ハ、頼末ヲ明ニシテ、國家ノ信用ヲ傷ケナイト云フコトニスルコトガ、
甚ダ今日及將來ニ於テモ、其筆法ヲ用フルト云フコトハ、必要ナコト、考
ヘル、而シテ此外債ヲ募ルト云フ、其募ル高ハ幾ラデアッタカト云ヘバ、
五千萬圓ト承テ居ルガ、五千萬圓ノ金ハ必ズ是ハ募ラネバナラヌ必要ガア
テ、募ラネバナラヌハ、ドウシテモ成立ツ理窟ハナイノデアル、若シ募ラ
テ事ガ足リルナラバ、募ラナクテモ宜イモノヲ募ラタト云フコトニナル、果
シテ此五千萬圓ヲ募ラテ、ソレヲ何レノ用途ニ充テル積リデアッタカ、而シテ
此公債ヲ募ル仕方ト云フモノハ、如何ナル手續ニ依リ、如何ナル人ヲ使ヒ、
如何ナル談判マデシテ進シテ居タカト云フコトヲ、明ニシテ見タガ、却
テ當局者ノ累モ是デナクナルコトデアラウト思フ、若シ又愈ノ信用ニシ
テ、五千萬圓ノ金ガ何事モナイ太平無事ノ世ニ募ラナイトスレバ、一朝國
事アル際ニ方ッテハ、果シテ如何ナルモノデアアルカ、平時ニ於テ五千萬
金ノ募レニハ益、募レナイト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ以上ハ、決シテ
シテハ心細イ話デハナイカト思フ、然レトモ是ハ事實ヲ承ラヌ以上ハ、決シテ
批評ヲ致スデハナイ、是ハ明ニシテ方ガ、當局者ノタメニ甚ダ宜シイコト
デ、又國家トシテモ國ノ信用ヲ保護スル上ニ於テ、此議會ニ於テ、其頼末ヲ明
ニスルコトヲ望ムノデアル、皆此大ニハ内政ノ部ニ這入ッテ質問ヲ致ス、
内政ノ部ニ這入リマシテハ、極ク簡單ノコトデ、實ハ分リ切ツタ問題デア
マスルガ、免ニ角其趣意トスル所ハ、當局者ニ此分リキツタ問題ニ附イテ、
早ク分リキツタ處分ヲナセ爲サヌト云フ問題デアアル、即チ此内政ノ質問ハ
專ラ中央ニ在ラズシテ地方ニ在ル、地方ノ財政ト云フコトニ附イテ、諸君
御存ジノ通ニ、今日ノ場合年々歳々地方財政ノ膨脹ト云フコトニ於テハ、殆
ド人民負擔ニ堪ヘズ、此儘ニシテ若シ數年ヲ推シ進ムトキニハ、府縣市町村
ニ於テ續々身代限ノ現象ヲ惹出スデアラウト思ハレ、地方ノ財政ノ紊亂シ
テ居ルコト、地方ノ行政ノ紊亂シテ居ルコト、此二點デアアル、實ハ一々之ヲ
財政ノ紊亂ト云フ點カラ行ク、其材料山ノ如クアツテ、實ハ一々之ヲ
舉ゲル譯ニハ往カヌ、又固ヨリ一々舉ゲナクテモ、既ニ世間ニ明ナコトデ
アル、皆口ニ唱ヘ腦ニ感シテ居ル點デアリマスカラ、敢テ其事例ヲ引イテ申
シマセヌ、併ナガラ甚キニ至テハ、一千八百戸ノ村ニシテ二萬五千圓ノ
町村費ヲ拂フ一家、貧乏ナル家ニシテ、二十圓三十圓ノ町村費ヲ徴收セラ
ル、ト云フヤウナ町村ガ澤山アル、斯ノ如ク是ハ唯町村費デナイ、或ハ市
ノ費、府縣ノ費、段々此地方ノ費用ト云フモノガ増シテ來マシタ、中ニモ殊
ニ此著シク三五年ノ間ノ地方費ノ増徴ト云フモノハ、殆ド府縣ニ依ツテハ、
倍ニ倍三倍ノ増加ヲ來シテ居ルノデアル、一段ノ地ニ二石ノ米ノ取レル所ニ、
二三年ノ間ニ四石六石ノ收穫ノアル筈ハナイ、地方人民ノ歲入ハ増サズ
シテ、歲出ノミ、費用ノミ増スト云フコトニ推續イタナラバ、此人民ハ無論
路頭ニ迷フ境遇ニ至ルデアラウ、是ハ誠ニ其村々其府縣々々ニ就イテ、事情ヲ

質シテ見タナラバ、固ヨリ無名ニシテ金ヲ徴收スル譯ハナイカラ、或ハ學校
ト云ヒ病院ト云ヒ、或ハ道路ノコト、云ヒ、河川ノコト、云ヒ、ソレノ結
構ナ目ノ下ニ金ヲ集メテ居ルニハ相違ナイ、然レドモ其費スル所其爲ス所
業ガ、其國家ノ必要ニ應ジテ遣ツテ居ルカト云ヘバ、決シテサウデナイ、或ハ
イラザル所ニ學校ヲ起シ、人ノ通ハス所ニ道ヲ起スト云フヤウナ奇談ガ澤山
アル、斯ウ云フ有様デ、地方ノ財政ガ紊亂シテ往クコトハ、是ハ容易ナラ
ヌコト、思ヒマス、是ハ固ヨリ疾ニ當局者モ既ニ承知ノコトデアアルモ拘
ラズ、未ダ之ヲ矯正スルノ策ヲ施サヌ、之ヲ監督スルノ途ヲ講ジナイニ至
テハ、實ニ驚クノデアル、畢竟斯ノ如キ災ノ根本ヲ釋ネテ參ルト云フト、詰
リ被治者ニ在ラズシテ治者ニ在ル、其害患ヲ防禦スベキ職責ニ在ルベキ人
ガ、却テ其罪惡ヲ爲シ來ツテ居ルコト云フ事蹟ガ、歷々トシテアル、又今日新
聞紙ノ報ズル所ハ、各府縣續々ト收賄ナル者ガ拘引セラレ、者ガアルハナ
イカ、畢竟地方ノ市町村ト云フモノ、此亂ル、ト云フコトハ、地方長官ノ
監督ノ不行届ニ在ル、地方長官ノ私、地方長官ノ罪惡ヲ爲スト云フコトハ、中
央政府ノ監督ノ足ラザルニ歸因スル、然ラバ斯ノ如キ財政ノ現レナイカ、或ハ
其處ノ戸長ヲイデクリ、巡查ヲイデメルト云フコトハ、時々聞クガ、其元兇
ヲ處分スルト云フコトニ至ツテ甚ダ鈍イ、或ハ轉職ヲ命ジ、或ハ轉任ヲ命ズ
ルト云フヤウナ、實ニ姑息ナコトバカリヤツテ居ルカラシテ、決シテ此罪惡
ガ革マルヌ、弊害ガ革マルヌ、又其財政ノ甚シイ處ニ向ツテハ、多少ノ役人
ヲ取更ヘルトカニシテ、其クナタト云フヤウナ想像ヲセラレテ居ルヤ
ウナ向モアルガ、靜岡縣ノ如キハ其クナラヌ、益惡ルクナルト云フ形勢デア
ル、是ハ其府縣ヲ指シ必要ハナイガ、既ニ當局者ノ机ノ上ニハ、歷々トシテ
證據ガ各府縣カラ舉ツテ居ラウト思ハレ、斯ノ如キハ唯是ハ一地方ノ利害
デナイ、是ハ一國ノ存亡ニ關スル問題デアアル、此地方財政ノ今日、財政ノ紊
亂、行政ノ亂レ、サウシテ官吏ト奸商ト相合シテ私ヲ爲シ、或ハ縣會議員ト
縣知事ト相謀ツテ、私ヲ爲スト云フヤウナコトガ續々アル、或ハ之ヲ調査ニ
托シ、或ハ之ヲ調ベルトカ何ト云フ間ニ、時日ヲ遷延シテ居ルガ、時日
ヲ遷延スル間ニ益々害惡ハ大キクナル、是ハ實ニ今日國民トシテ、一日モ早
ク其禍源ヲ絶ツテ、地方財政ト云フコトニ、專ラ當局者ハ注意シナケレバナ
ラヌ話デハナイカ、或ハ中央政府ニ於テ、行政ノ整理財政ノ整理ト云フコト
ガヤカマシクナルニ從ツテ、委員會ヲ設ケルト云フヤウナコトハ耳ニスルガ、
今日ノ大患ハ中央ニ在ラズシテ地方ニ在ル、或ハ行政整理或ハ財政整理ト云
フヤウナコトハ、局課ノ廢合或ハ小サナ役人ヲ叩キ出スト云フヤウナ、形式
的ノコトヲシテ何ノ利益ガアルカ、寧ロ爲ササルヲ勝ルモ、之ヲ以テ一國ノ
政治ノ面目ヲ蓋メルコトヲ望ムハ、是ハ本ニ緣ツテ魚ヲ求ムルガ如クデア
ル、地方財政ニ於テハ十分當局者ニ勸告ヲ致シテ置キマス、而シテ終リニ臨ンデ
當局者ニ、私ハ漢トシタ問題デアリマスガ、問ヒ方モ妙ナ質問ノ出シデア
ル、現政府モ尙ホ憲政ノ發達ヲ希望セラル、ヤ如何ト云フ問ヲ出シテ見タイ、
是ハ頗ル奇ナ問デアリマスガ、併シ私ハ自分ノ頭ニ了解シナイ事件ガ著
著アリマスルカラ、序ナガラ茲ニ質問ヲ試ムデアル、固ヨリ此立憲政
治ノ國ニ於テ、政府ヲ打立テ、國家ノタメニ盡力セラル、諸君方ノ頭ニ於テ、
立憲政體ノ發達ヲ希望セヌト云フコトハ、其精神ニ違奉シテ國政ノ美ヲ舉ゲント
スルコトヲ期待セラル、ニ相違ナイ、其愛國心ヲ以テ國事ニ當ラル、諸君デ
アルカラ、特ニ私ハ此一點ヲ忠告ヲ致シ、又當局者ノ大ニ反省ヲ促サウト云
フ考ヲ持ツテ居ル、ト申スモノハ、其當局者ノ愛國心アルニモ拘ラズ、實

ケノコトヲ……
○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ第一ノ議事ニ移リマス、臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第一 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料 第一讀會

第一條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ二箇年以上引續キ在職シタル者ニハ巡查看守退隱料及遺族扶助料ヲ給付スルノ趣旨ニ於テ其ノ在職一箇月ニ對シ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第二條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ二箇年以上引續キ在職シタル者ニハ臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ二箇年以上引續キ在職シタル者ニ對シテ風土病又ハ流行病ニ罹リタルトキハ退隱料給付上職務ノ爲疾病ニ罹リタルモノト看做ス
第三條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リタルトキハ遺族扶助料給付上職務ノ爲疾病ニ罹リタルモノト看做ス
第四條 前條ノ風土病及流行病ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス
第五條 本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ臺灣ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職年月數ニモ之ヲ適用ス

附則
本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員內務總務長官大森鍾一君演壇ニ登ル)

○政府委員(大森鍾一君) 本案提出ノ理由ヲ一言陳述ヲ致シマス、唯今ハ臺灣ノ巡查看守ノ退隱料並ニ遺族扶助料ハ、内地ノ巡查看守ノ法律ヲ以テ實施致シテ居リマス、然レニ御承知ノ通り臺灣ノ土地ハ風土氣候ハ異ナリ、其職務ノ執行ノ狀態ニ於キマシテモ、内地ノ大ナル差ガアリマス、例ヘバ御承知ノ通り土匪ノ取締トカ、或ハ強盜ノ取締、種々ナリ危險ニ侵サレマス、場合ハ内地トハ大ナル差ガアリマス、内地ト同様ノ待遇ノ法ヲ以テスルト云フコトハ、甚ダ適當ナラズト云フコトヲ見マス、既ニ通常ノ文官恩給ノ方ニ於キマシテモ、内地ト臺灣トハ多少ノ差別ヲ附ケテアリマス、即チ之ニ準ジマシテ、巡查看守ノ待遇ノ方モ、内地ト多少ノ差別ヲ附ケヤウト云フ趣意デアリマス、詳細ノコトハ尙ホ委員會ニ於テ陳辯ヲ致シマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○花井卓藏君(二百八十三番) 議長

○議長(片岡健吉君) 二百八十三番、質問デスカ

三號ト本案トノ關係ガ承リタイノデアリマス、六十三號ノ法律ガ憲法ニ違反スルヤ否ヤ、若クハ事實上必要アリヤ否ヤト云フコトハ別論ト致シマシテ、併ナガラ既ニ六十三號ヲ以テ、臺灣總督府ニ對シテハ、委任ノ立法ノ出來ルト云フコトノ法律ガ出來テ居ル、臺灣總督府ノ長官ハ、臺灣ノ法律關係ニ於テハ、委任セラレタル權限ニ於テ、及臺灣ノ施政ニ關スル總テノ法律關係ニ規定ノ權限ヲ有スルコトヲ事柄ニナツテ居ルデアリマス、而シテ本案ハ、此案ニ關シテ、此警察官ニ關シテ、官吏ノ一部タル所ノ巡查ニ關スル所ノ權限ニ基イテ、立法ヲスルコト云フガケノ力ガナイノ、何故ニ此六十三號ノ委任ノ權限ニ基致シマシタル六十三號ノ法律ハ、巡查ノ身分關係若クハ俸給關係ニ於テダケハ、立法ノ委員ヲ除外ヲスルト云フコトノ、但書モ例外モ備ヘラレテアルノ

デハゴザリマセヌ、然レニ諸般ノ關係大ナル問題ニ附イテデサヘモ、六十三號ニ依ッテ運用サレテ居ルニモ拘ラズ、此問題而モ巡查ノ恩給扶助料ト云フヤウナ、些細ナル關係ニ於テ、何故ニ六十三號ノ力ガ及バヌノデアルカト云フコトヲ、第一點ニ質問ヲ致シタイ、ソレカラ第二點ニ於キマシテハ、法律ノ力即チ法力ノ及ブ所ノ區域ト云フコトニ附イテ、質問ヲ致シタイデアル、臺灣ノ土地ニ於キマシテハ、法律ノ六十三號ニ依ッテ諸般ノ立法ガ出來ルト云フ事柄ニナツテ居ルデアル、然レニ第三點ニ對シテハ、此帝國議會ニ於テ協賛ヲ得ナケレバナラズト云フ事柄ニナリマス、例ヘバ臺灣ノ土地ニ及ブ法力關係、法律ノ力ノ關係ト云フモノハ、一半ハ帝國議會ニ在ル、他ノ一半ハ六十三號ノ委任權限ニ在ルコトヲ云フガ如キ次第ニ於テ、私共ノ宿論デゴザイマス、併ナガラ六十三號ノ委任權限ニ及ブコトヲ云フガ、力ノ及ブ範圍ト云フモノハ、即チ總テガ臺灣ノ領土ニ及ブコトヲ云フノガ、私共ハ、吾々ノ宿論ト云フモノハ、通行ハレテ居ル趣意デハナイ、即チ此點ニ於テ臺灣ニハ諸般ノ法律關係ノ規定ニ關シテハ、六十三號ガ一半ニ於テ之ヲ支配シ、關係ニ附イテハ、帝國議會ガ協賛ヲシタル法律ヲ以テ支配ヲシ、即チ一般ノ關係ニ對シテハ、法律ノ支配ヲ受ケル方ノ側カラ考ヘ、臺灣ノ領土ヨリ考ヘ、即チ臺灣ノ領土ニ於テハ、六十三號ノ法力ヲ受ケ、又普通一般ノ法力ヲ受ケルコトヲ云フガ如キ次第ニ相成ッテ居ルデアリマス、如何カト云フ事柄ヲ御尋シタイ、第三點ニ於キマシテハ、事實ノ上ニ附イテ伺ヒタイデアル、私ガ第一點第二點ニ於テ述べテ居ルガ如キ實例ガ、今日マデニ二箇所アルカノ如クニ見エヌノデアル、我國ノ法力ノ上ニ於テ、稍之ニ類似シテ居ルモノガアルカノ如クニ見エヌノデアル、斯様ニ致シマシテ、サウシテ臺灣ノ總督府ノ役人杯ト云フモノハ、年中東京ニ參ッテ居ルト云フヤウナ次第デ、現ニ政府委員、土地ガ遠方デアラ、急ノ處分ヲ要スルコトヲ云フヤウナ次第デ、議會ノ開會ヲ待ツコトガ出來ヌカラ、委任ノ立法ヲ設ケテ貫ナケレバナラズト云フヤウナ、説明アルニモ拘ラズ、一般ハ法力ヲ普通ノ法力同様にシテ、事實ノ上ニ於テ臺灣ノ役員自身ガ内地ニ來テ、政府委員ニ列席シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テモ、又本案ノ如キモノニ向ッテ協賛ヲ得ヤウト云フ場合ニ於テモ、尙ホ且ツ六十三號ト云フモノヲ、今日以後ニ持續セシムルト云フ趣意デアルカ否ヤ、問題ハ違ハヌノデス、六十三號ノ關係ヲ此場合ニ聽クノハ、極ク大切デアラウト思フ、故ニ以上ノ三點ニ對シテ答辯セラ、ト同時ニ、此案ト云フモノガ、既ニ提出セラレテ居ル所ノ六十三號ノ法律ヲ通過スル値路ニタメニ之ヲ出シタイデアルカ、或ハ又此議員ノ法律的腦力ヲ試驗スルガタメニ、馬鹿ニシラガタメニ、出サレタ法案デアアルカト云フ事柄ヲモ、併セテ伺ヒタイデアリマス

(政府委員內務總務長官大森鍾一君演壇ニ登ル)

○政府委員(森田茂吉君) 唯今ノ御質問ニ答ヲ致シマス、此第一ガ法律六十三號ト此法律トノ、今度提出シテ居リマス所ノ法律トノ關係ハ、ドウ云フモノデアルカト云フコトデゴザイマス、是ハ既ニ御承知ノ御アリナサル通、昨年帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、内地ノ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ト云フモノガ出マシタ、其法律ヲ六十三號ノ箇條ニ在ル效力ニ依リマシテ、臺灣ニ施行致シマスル勅令ヲ發布致シマシタ、ソレ故今日ニ於テハ、臺灣ニ行ハ

リマスレバ、矢張同様ノ形式ニ於テ、此法律ト云フモノモ、出來ナケレバナ
ラヌモノデアラウト思フノデアリマス、臺灣銀行法ト云フモノヲ引用セラレ
マシタガ、臺灣銀行法ト云フモノハ、臺灣ニミ行フベキ法律デハナイ、即
チ、國家政府ハ、帝國議會ハ、即チ内地ノ人民一般ニ效力ヲ及スベキ程度ニ於
テ、制定セラレテ居ルモノデゴザイマス、是ハ例ニモ何ニモナラヌノデア
リマス、臺灣ニ於テハ六十三號ノ權限ノ及ブ事柄ニ關シマシテハ、何等ノ事
柄ト雖モ内地人ト特別ナル關係ヲ有シテ居ル場合ニ於テハ、立法ガ出來ルト
云フコトニナツデ居ル、立法ト云フト諳弊ガアルカ知ラナイケレドモ、授ケ
ラレタル權限ニ於テ、法律ト同様ナル效力ヲ有スル規定ガ出來ルト云フ事柄
ニ相成ツテ居ルノデアアル、此力ニ依ツテ何故之ヲヤラヌ、臺灣銀行法ハ内地
ニモ行ハレル法律デアアル、此法律ハ日本内地ニ行ヒ得ベキ法律デナイノデア
ル、律令問題ニ附イテハ、法律其者ト法律ノ效力ヲ有スル律令トハ、其間ニ
大ナル區別ガアルト云フ事柄ハ、既ニ本員ガ明治三十一年カノ議會ニ於テ、
大ニ今ノ政府委員ト爭ツタノデアリマス、唯今私が申シマスニ於テ、
ナ點ニ於テハ、何等ノ解決ヲスルコトガ出來ナカッタノデアリマス、其場合ニ
於テモ、私が申シテ居リマス裁判權ノ問題ニ附イテ、臺灣ニ於ケル控訴審
ノ控訴院ノ裁判ト云フモノニ對シテハ、内地ノ裁判所ニ上告ガ出來ルト
云フ法律案ヲ出シタコトガアルノデアリマス、其場合ニモ、是ハ同様ナル問
ヲ發シタガ、明白ナル答ヲスルコトガ出來ナカッタノデアリマス、デゴザイ
マスカラシテ、是等ノ俗吏事務ヲ知ルト雖モ、法律ナドハ知ルモノデゴザイ
マセヌカラ、追窮致スノ必要ハゴザイマセヌケレドモ、元來律令ト云フモノハ
六十三號ノ尺度ノ及ブ力ト云フモノニ合ハ、ドレダケノ幅サガアルモノデア
ル、三號ノ尺度ハ何リデアアル、或ル場合ニ於テハ日本内地同様ニ法律ガ及ビ
ル、場合ニ於テハ臺灣ニミ限ル立法ガ出來ルト云フヤウナ理窟ニナリマス
ト、餘程變ナモノデアアル、私ハ寧ろ本案ノ如ク、ドレデモ帝國議會ニ出シテ、
協贊ヲ與ヘタイト云フノデアアルニモ拘ラズ、此臺灣組ノ連中ト云フモノハ、
六十三號ト云フモノ、有效年限ガ、モウ三箇年ナカッタ析ニハ、進退ヲ賭シ
テ爭ハナケレバナラヌト云フナラバ、コンナモノガ議會ニ出タナラバ、段
段權限ヲ縮メテ、事實ノ上ニ於テ、六十三號ハ死物ノヤウニ向イテ居ルデハ、
アリマセヌカ、ソレデモ矢張唯今ノヤウナ説ヲ主張セントスルノデアアルカ、
ドウデアアルカト云フコトモ、一ツ伺ツテ置キタイ

（政府委員内務書記官森田茂吉君演壇ニ登ル）

○政府委員森田茂吉君 唯今ノニ御答致シマスガ、少シ私共ノ考ヘテ居リ
マスル法律上ノ議論ト、花井君ノ考ヘテ居リマスルノト違フカ知リマセヌガ、
詰リ花井君ノ御議論デアリマスルト、内地ノ法律ヲ六十三號ノ力ニ依ツテ、勅
令ヲ以テ施行シタル法律ハ、律令ヲ以テ改正シ得ル御見解ノヤウデアリマス
（花井卓藏君改正デナイ律令ヲ引用スベシ）ト呼フ）私ハツレガ出來ナイト、
政府ガ取ツテ居ルノデアリマス、倒ヘバ若シモ是ガ出來ルトスルナラバデス、
法律六十三號ト云フモノガデス、臺灣ニ行ハレテ居リマス、是ハ律令ノ力ヲ
以テ、ドウニモ改正スルコトガ出來ル議論ニ歸著シナケレバナラヌ（花井卓
藏君「違ヒマス」ト呼フ）サウストル六十三號ノ議案ハ、本年議會ニ提出スル
必要ガナクシテ、律令ヲ以テ法律ニ代ル命令ヲ出セバ宜イト云フコトノ議論
ニナル、ツレデ内地ノ法律ハアチラニ施イテ居リマス、其施イテ居ルノハ六
十三號ノ勅令デ施イテ居ル、律令デ施イテ居ルノデハナイ、内地ノ法律ヲ勅令
デ施イテ居リマスル場合ト、内地ノ法律同様ナモノヲ律令デ出シテ居リマス
ル場合ト、之ヲ改廢スル時ノ形式ガ餘程違ツテ來マス、政府ノ考デハ、内地ノ
法律ヲ六十三號ノ規定ニ依ツテ、勅令ヲ以テ施行シタル場合ニ於テ、其内地

ノ法律ニ臺灣ニ於テ行フ形式ヲ變ヘル場合ニハ、矢張法律ノ力ヲ以テセナケレバナラヌ、現ニ臺灣ニ行ハレテ居リマス法律ハ澤山アリマス、臺灣ノタメニ出タノモアリマス、其臺灣ノタメニ出タノ法律モ、律令ノ力ヲ以テテヤレバ宜イト云フ議論ニナリマス、律令ハ一個ノ法律デナイト、政府ハ採ッテ居リマス、其故ニ、現ニ此文官ノ一般ノ恩給法、其恩給法ノ内容ヲ改正シマスル場合ニ於テ、諸君ノ協賛ヲ經メシテ、恩給法ト云フモノヲアテラニ出シタノデアリマス、諸君ノ協賛ヲ經メシテ、恩給法ト云フモノヲアテラニ出シタノデアリマス、私ハ自分ノ信シマスル所ダケヲ答辯致シマデ、是ハ議論ニナリマセウカラ、

○花井卓藏君(二百八十三番) 二百八十三番

○議長(片岡健吉君) 花井君ハ質問デスカ

○花井卓藏君(二百八十三番) 質問ハアリマスケレドモ、答辯更ニ要領ヲ得ズ、何ガ何ヤラ譯ガ分カラヌト云フコトヲ、速記録ニ留メテ置キタイ

○議長(片岡健吉君) サウ云フコトナラ許シマセヌ

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 百九十一番

○議長(片岡健吉君) 丸山君ハ質問デスカ

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

○議長(片岡健吉君) 百九十一番

○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 質問デスカ

官報號外 明治三十五年一月二十六日 衆議院議事速記第九號

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

○政府委員(森田茂吉君) モウ一ツハ ○丸山嵯峨一郎君(百九十一番) 斯様ナ案ヲ提出スル手續ハ、何ノ法律ニ在ルカ、臺灣ノ律令ニ於テ斯様ナコトガ規定シテアルカト云フコトヲ答ヘテ貰ヒタイ、尙ホ唯今昨年ノ勅令ニ依ッテ施行スルコトニナッタ、其勅令ニ依ッテ施行スルコトニナッタ、ソレヲ改正スルタメニ、斯様ナ形式ノ法案ヲ出スト云フ手續ハ、ドウ云フ理由デアルカ、之ヲ聞キタイ

○政府委員(森田茂吉君) 御答ヲ致シマスガ、律令ノ上ニハ何等ノ規定モアリマセヌ、詰リ法律三十八號ヲ、勅令ヲ以テ臺灣ニ行ヒマシメテ、現在アリマス所ガ其法律ノ中ニ就イテ、臺灣ノ巡查及看守ニハ、或ル恩典ヲ與ヘタイト云フガタメニ、此法律ヲ出シマシタノデ、別段ニ律令等ニハ、何等ノ關係ヲ有ッテ居リマセヌ

○恆松隆慶君(二百二十四番) 質問ハ止メマシテ、議事日程第二ニ移ランコトヲ……

○議長(片岡健吉君) 外ニ御質問ガナケレバ、議事日程第二ニ移リマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、議事日程ノ第三ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省キマス

第三 臺灣官設鐵道用品資金會計法案(政府提出) 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案

第一條 鐵道用品ヲ購入貯藏シ臺灣官設鐵道ノ運輸營業並建設事業ノ需用ニ應スル爲臺灣官設鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 臺灣官設鐵道用品資金ハ本法施行ノ年度始現在ノ臺灣總督府鐵道部ニ於ケル貯蓄材料ヲ以テ之ニ充テ尙必要ニ應シ臺灣總督府特別會計ヨリ漸次繰入シテ五十萬圓トス

第三條 臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル用品ヲ使用スルトキハ臺灣官設鐵道所屬ノ經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ此ノ場合ニ於テハ前金拂並概算渡ヲ爲スコトヲ得

第四條 臺灣官設鐵道用品資金ヲ以テ購入貯藏シタル鐵道用品ノ製作、改製及修理ノ費用ハ該資金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第五條 臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル鐵道用品ノ賣拂價格ハ其ノ自然ノ損減歩合、製作、改製及修理費並其ノ附屬費用及購入ニ附隨スル諸費ヲ其ノ購入原價ニ加算シテ之ヲ定ムヘシ

第六條 臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度臺灣總督府特別會計ノ歲入ニ編入スヘシ

第七條 政府ハ毎年臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ歲入歳出豫算ヲ調製シ歲入歳出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

臺灣官設鐵道用品資金會計法案 第一讀會

○政府委員(大森鍾一君) 本案ハ至ッテ簡單ナコトデアリマスカラ、一言申

シテ置キマス、御承知ノ通り臺灣ニ於キマシテモ、鐵道事業ガ追々伸張致シマシテ、現ニ百十四哩ノ鐵道ヲ見ルヤウニナツテ居リマス、今年モ尙ホ伸張ヲ致シ十數哩ノ延長ヲスルヤウナ都合ニナツテ居リマス、從ッテ此用品資金ノ特別會計ヲ要スルト云フコトハ、是レ亦多辯ヲ要サヌコトデアラウト信ジマス、詳細ノ義ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマス、御協賛ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 特別御質問モナケレバ、議事日程ノ第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長指名「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 次ニチヨット動議ガアリマス、第五カラ第十四マデハ一括シテ議題トシテ貰ヒタイ、詰リ委員ニ付託シタイ、成ルベクナラバ政府委員ハ饒舌ヲヌカガ宜シ

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君ヨリ、第五ヨリ第十四マデヲ一括シテ、議題ニスルト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

第五 明治三十三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 明治三十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 明治三十三年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 明治三十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 明治三十三年度清國事件費豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(二百二十四番) 直チニ九名ノ委員ヲ指名ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 特別御質問モアリマセヌカレバ、今一括シテ議題ト爲シタル案ニ附イテ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

タイ、是モ説明ヲ略シテ委員ニ付託ヲシタイ

○議長(片岡健吉君) 恆松君カラ、第十五第十六ヲ一括シテ議題ニスルト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ一括シテ議題ニ供シマス

第十五 賣藥印紙稅規則廢止法律案(高須賀禎君外八名提出) 第一讀會

賣藥印紙稅規則ハ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ廢止ス

第十六 賣藥稅法案(高須賀禎君外八名提出) 第一讀會

賣藥稅法

第一條 賣藥營業者ハ藥劑一方ニ付毎年金六圓ノ營業稅ヲ納ムヘシ但シ一方ニ付一箇年ノ賣上高二百圓ヲ超過スルトキハ百圓ヲ増ス毎ニ一方ニ付金三圓ヲ加フ

第二條 前條ノ賣上高ハ前年中ノ總額ニ依ル但シ前年中ニ開業シタル者及新ニ開業シタル者ハ豫算ニ依ル

第三條 賣藥營業者ハ毎年一月三十一日迄二前年中ノ賣上高ヲ政府ニ届出ヘシ

前年中ニ開業シタル者ハ前項ノ期日迄ニ新ニ開業シタル者ハ開業ノ際賣上豫算高ヲ政府ニ届出ヘシ

第四條 賣藥營業稅ハ年額ヲ二分シ其ノ年三月九月ヲ以テ納期トス但シ納期後ニ開業シタル者ハ營業ヲ廢止シ若ハ禁止セラレタル者ハ即納トス

第五條 賣藥營業者ハ物品ノ仕入賣上及營業ニ關スル金銭ノ出納ヲ明ニスル爲帳簿ヲ備ヘ營業上一切ノ事實ヲ記載スヘシ

第六條 收稅官吏ハ營業ニ關スル帳簿物件ヲ検査シ又ハ營業者ニ尋問スルコトヲ得

第七條 賣藥營業者ハ第三條ノ届出ヲ爲サス若ハ虛偽ノ届出ヲ爲シ又ハ故意ヲ以テ第五條ノ帳簿記載ヲ怠リ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス其ノ脱稅シタルモノハ脱稅金額三倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪、輕減、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス

附則

第九條 本法ハ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 賣藥規則中第十六條賣藥營業稅ノ條項及第十八條第十九條ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○高須賀禎君(十二番) 時間折迫ノ折柄ニ、此十五十六ノ提出ノ理由ヲ述ベマスガ、是ハ理由書ニ精シク書イテアリマスカラ、ドウカ之ヲ速記録ニ載セラレンコトヲ希望致シマス

賣藥印紙稅規則廢止法律案理由書

我カ國ノ賣藥方數約五萬五千方劑ニシテ之ニ要スル印紙ノ貼用高一箇年凡ソ三億餘萬枚ニ降ラス而シテ其ノ印紙ノ過半ヲ占ムルモノハ一厘二厘ノ些細ナルモノニシテ營業者ハ一々此ノ最少印紙ヲ貼用シ且消印ヲ施スノ煩累

アルト之ニ要スル元費ノ多額ナルノミナラス既ニ印紙ヲ貼用シタルカ爲特ニ其ノ製藥ノ失敗ニ歸シタルモノヲモ尙之ヲ放棄スルコトヲ爲サス終ニ無効有害タルヲ知リナカラ公然陳列販賣ヲ爲スモノハ又近來支那朝鮮若ハ布哇等ノ海外諸國ニ向テ賣藥ノ輸出ヲ試ムル者アルモ印紙貼用ニ要スル煩雜ナル手數ノ爲充分其ノ販路ヲ擴張スルコト能ハス當業者ニ於テ深ク遺憾ト爲ス所ナリ

實業ニ印紙ノ貼用ヲ要スル爲之カ破損消印ノ脫漏等ノ違反ニ因リ刑辟ニ觸ル者年々四百名以上六七百名ノ多數ニ上リ又罰金ヲ課セラレタル高三千圓乃至七八千圓ノ多額ニ達セリ此ノ如キハ畢竟課稅ノ方法其ノ宜キヲ得サルニ因由スルモノト謂ハサルヘカラス加フルニ收稅吏ノ嚴密ナル取締ヲ爲スヨリ徵稅費ニ多額ノ出費ヲ要シ租稅ノ徵收率率百分ノ二乃至二半ヲ以テ通例トスルニ對シ百分ノ十以上ニ達シ其ノ他印紙製造若ハ廢紙交換等ノ費用ヲ控除スルニ對シハ賣藥稅ノ國庫ニ收入セラルヘキモノハ實ニ僅少ニ過キス賣藥ニ印紙ヲ貼用シ以テ國庫ノ收入ト爲スコト歐米諸國ニ於テ曾テ之ナキノミナラス如斯零碎ノ印紙ヲ製造スルモノアルコトハ殆ト其ノ類例ヲ聞カサルナリ

近來自製ノ賣藥ニ對シテ往々無印紙ノ儘之ヲ販賣スル者アリ又賣藥部外ト稱スルモノニシテ殆ト賣藥ト效同フモノモニ對シ無稅ナルアリ頗ル公平ヲ失ス元來賣藥ニシテ有稅實業ニシテハ之ヲ保護獎勵シ以テ製藥ノ進歩改良ヲ促スト同時ニ其ノ不長ノモノニ對シテハ之ヲ取締リ嚴ニ國民衛生ノ保全ヲ圖ラサルヘカラス今日多數細民ノ現狀ヲ觀ルニ其ノ疾病者ハ醫藥ノ不廉ニ堪ヘス僅ニ賣藥ニ賴テ生命ヲ保續スルモノナルヲ以テ製藥ニ煩雜ナル重稅ヲ課シ細民唯一ノ藥餌ヲシテ失効ノモノト爲スカ如キハ決シテ等閑ニ付スヘキニアラス

要スルニ賣藥印紙稅ハ管ニ不法ノ賦課ナルノミナラス多額ノ徵稅費ヲ要シ實際國庫ノ收入ニ益スル處少ナキヲ以テ現行賣藥規則中營業稅ヲ改正シ賣藥印紙稅規則ヲ廢止シ營業者ノ煩雜ナル手數ヲ省キ以テ賣藥ノ改良進歩ヲ促スノ必要ヲ認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

賣藥稅法案理由書

賣藥印紙稅規則ノ廢止ニ伴ヒ賣藥營業稅ヲ改正スルノ必要ヲ認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

○恆松隆慶君(二百二十四番) 九名ノ委員ヲ議長ノ指名ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、九名ノ特別委員ヲ議長ノ指名ト云フ動議ガアリマシタガ、御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ決シマス、議事日程ノ第十七ニ移リマス堀越寬介君

第十七 治水制度調査會設置ニ關スル建議案(堀越寬介君提出)

治水事業ノ忽諸ニ付スヘカラス固ヨリ論ヲ俟タス而シテ我カ國治水行政ノ實際ヲ見ルニ其ノ所管區々ニシテ治績舉ヲ加ス政府ノ治水行政ニ於ケル概スルニ怠慢且無方針ナルノ嫌アリ依テ治水制度調査會ヲ設置シ治水行政ニ關スル諸般ノ事項ヲ調査シ以テ大ニ之カ刷新ヲ圖ラムコトヲ望ム

○堀越寬介君(九十三番) 本案モ矢張理由書ニ説明ガ書イテゴザイマスカ

ラ、ドウゾ委員會デ御話ヲシタイト思ヒマス、委員付託ニ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ヲレデハ九名ノ特別委員ヲ報告シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ決シマス、議事日程ノ第十八第一續會ノ讀、神藤才一君

第十八 市町村會議員及市參事會議員ニ關スル法律案(田口卯吉君外二名 第一讀會ノ續(委員長提出))

○神藤才一君(百十八番) 本員ハ極ク簡單ニ此市町村會議員及市參事會議員ニ關スル法律案ニ附イテ、委員會ノ經過ヲチヨット御報告ヲ致シマス、是ハ既ニ諸君ノ手許ニ回ッテ居リマス通ノコトデゴザイマスルカラ、是ハ朗讀ラ省キマシテ、其委員會ノ結果ハ第一項ニ附イテハ、政府委員ニ於テ同意ヲサレマシタ、第二項ニ至リマシテハ、政府委員ハ理由ヲ述ベマシテ、ドウモ同意スルコトガ出來ナイト云フコトデ、因テハ提出者ニ於キマシテモ、第二項ノコトニ附イテ、政府委員ガ同意セラレヌニ於テ、全般ノコトガ通過シナイヤウニナッテハ、甚ダ殘念ダニ依ッテ、第二項ダケハ撤回スルコトニナリマシタ、同時ニ一委員會ガ第一項ノコトニ附イテ、修正案ヲ出サレマシタ、其修正案ハ昨日ノ日附ニアリマス報告書通、是モ諸君ノ手許ニ配付シテゴザイマスルカラ、是ハ略シテ置キマス、其修正案通、委員會ハ滿場一致ヲ以テ通過ヲ致シマシタ、併ナガラ其活版後ニ修正案ノ標題ガ少シ訂正セラレマシタ故ニ、ツレヲチヨット朗讀シテ置キマス、ツレハ「市町村會議員及市參事會議員ヲ關スル法律案」ト云フノ「市町村」ノ財務並市町村會議員及名譽職市參事會議員ニ關スル法律案」斯ウ云フヤウニ訂正ニナリマシタ、故ニ是ダケヲ私ハ報告致シテ置キマス

○鈴木總兵衛君(百八十六番) 委員長ニ質問致シマス、此委員會ノ議決ニナリマシタ、此文章中四行目ニ法人ノ役員ト云フノガアル、此役員ト云フノハ、監査役ヲ指シタノデスカ、或ハ取締役業務擔當員ヲ指シタノカ、是ダケガ不明デアリマスルカラ、伺ヒマス

○神藤才一君(百十八番) 是ハ總テ法人ニ關スル所ノ役員ニ附イテデスカラ、ツレハ皆關シテ居リマセウ、併ナガラ詳細シイコトハ提出者カラ……

○橋元島君(二百一十六番) チヨット委員長デモドナタデモ宜シウゴザイマスガ、修正ニナリマシタ第一項現金ノ出納其保管ノタメニ云々金庫ヲ設ケルト云フ、此金庫ヲ設ケルト云フヲ、國庫ト云フヤウナモノト同様デ、市町村ニ於テモ、或ハ銀行カ何カニ委託シテ、サウシテ其金庫ヲ設ケルト云フ趣意デゴザイマスルカラ、ドウ云フ趣意デゴザイマスカ

○田口卯吉君(二百五十七番) 唯今或ル議員ヨリ金庫ト云フコトニ附イテ質問ガゴザイマシタカラ、本員ハコ、デ辯明ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 宜シウゴザイマス

○田口卯吉君(二百五十七番) 此金庫ヲ設ケト云フコトハ、唯御質問ノ如ク國庫ニ於ケルガ如ク、市町村ニ於テモ金庫ヲ設ケル、即チ或ル銀行ヲ金庫ト

スルコトガ出來ルト云フ條文デゴザイマス、ソレカラ唯今鈴木君ヨリノ法人ノ役員ノ中ニハ、監査役ガ含ムカト云フコトデゴザイマスガ、本員ハ是ハ含マヌ考ヘデゴザイマスガ、併ナガラ是ハ必ズ法律上先例ガアルコトデアラウト思ヒマス、是ハ裁判官ノ決定ニ任シタガ宜シカラウト思ヒマス、本員一個ノ考ヲ述ベマスレバ、監査役ハ含マヌ意味デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ就イテ第二議會ヲ開クヤ否ヤヲ採決致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ第二議會ヲ開クコトニ決シマス、次ニ議事日程第十九第一議會ノ續

○島田三郎君(三十七番) 直チニ確定ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) モウ他ノ議事日程ニ移リマシタ

第十九 工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置 (委員長報告)

(根本正君演壇ニ登ル)

○根本正君(二百八十四番) 工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案、特別委員會ノ報告ヲ致シマス、此案ニ附イテハ、二度會ヲ開キマシタ、委員長理事ノ選舉、又之ヲ討論スルタメニ昨日開キマシタ、此板硝子ト云フモノハ、七年前ニ十六萬圓程ノ輸入デアッタ、所ガ此節ハ百五十萬圓ニナリマシタ、此品ガ民間デ出來マセヌ故ニ、ドウシテモ政府デ職工ヲ練習スルタメニ、一ツノ工場ヲ置クコトガ必要デアルト云フノデアリマス、是ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此原料ハ日本ニ澤山アル、山口縣、兵庫縣、和歌山縣、千葉縣、秋田縣、茨城縣ト云フヤウニ、何處ヘ往テモ澤山アリマス、石炭モ澤山アリマス、故ニ是ハ是非必要デアルト云フノデ、滿場一致且ツ政府モ同意致シテ、一日モ早ク此工場ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君(二百二十四番) 賛成致シマス、ドウカ即決アラント希望シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス、諸君ニ御諮リマスルコトガアリマス、佐藤通代君カラ病氣ノタメニ二十五日ヨリ三週間ノ請假ヲ申出マシタガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、報告ガアリマス

(書記朗讀)

提出者松田正久君外一名ヨリ東北大學設置建議案ヲ提出者犬養毅君外七名ヨリ東北大學設置ニ關スル建議案ヲ執モ撤回スル旨申出ラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

家祿處分ニ關スル建議案

提出者 佐藤 清君 菅原 傳君 佐治 幸平君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案

提出者 西山 清東君 島田 三郎君 佐藤 伊助君

丸山 嵯峨一郎君 高木 正年君 磯島 相政君

恆松 隆慶君 宮崎 榮治君 磯部 八五郎君

鳩山 和夫君 山田 喜之助君 室 孝次郎君

東北大學設置建議案

提出者 松田 正久君 尾崎 行雄君 武富 時敏君

存置ヲ要セザル國有林野ノ特賣ニ關スル法律案

提出者 河野 廣中君 河野 廣中君 佐市 庫太君

議院法中改正法律案

提出者 菅野 善右衛門君 河野 廣中君 佐藤 清君

未測ノ海岸及水路ノ測量完成ニ關スル建議案

提出者 根本 正君 田邊 爲三郎君 鈴木儀左衛門君

斗南藩士族家祿處分法案

提出者 關 信之介君 恆松 隆慶君 早川 龍介君

委員ヲ指定スル左ノ如シ

臺灣ニ在動スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

岩 瀨 武司君 五十野 讓君 市岡 政香君

石 谷 董九郎君 和 泉 邦彦君 大津 淳一郎君

臺灣官設鐵道用品資金會計法案

星 松 三郎君 內 山 松世君 花井 卓藏君

板東勸五郎君 西村 淳藏君 林 元俊君

西村 眞太郎君 井上 彦左衛門君 秋保 親兼君

明治三十三年度豫備金支出ノ件外四件

石 黒 涵一郎君 武 石 敬治君 土居 平左衛門君

鈴木 總兵衛君 神 輦 知常君 中 島 祐八君

深 尾 龍三君 石 原 半右衛門君 雨 森 菊太郎君

賣藥印紙稅規則廢止法律案外一件

稻 垣 示君 高 須 賀 鑲君 堀 豐 彦君

治水制度調查會設置ニ關スル建議案

西 田 收三君 金 岡 又左衛門君 大 矢 四郎兵衛君

恆松 隆慶君 長 瀬 清一郎君 佐 藤 里 治君

阿部 孫左衛門君 持 田 直君 堀 越 寬介君

佐々木 正藏君 佐 藤 宗 彌君 安 部 井 磐根君

○議長(片岡健吉君) 來ル二十八日ハ本會ヲ開ク積デアリマス、議事日程ハ

追ッテ公報ヲ以テ御通知スルコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十五分散會

衆議院議事速記第七號正誤

頁 段 行 誤

一一七下 三二 一括シテ九名 二九名

正 一括シテ各別

二九名

二九名

二九名

二九名

二九名

二九名